

第四十五回帝國議會
衆議院

刑事訴訟法案委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正十一年二月十五日午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鵜澤 總務

理事 熊谷 直太君

牧野 良三君 磯田三郎君

塚原 嘉藤君 宮古啓三郎君

井坂 豐光君 齋藤嘉太郎君

禰 苗代君 永屋 茂君

永井 作次君 野副 重一君

作間 耕逸君 森山儀文治君

山移 定政君 横山金太郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 山内 確三郎君

司法省刑事局長 林 頼三郎君

司法省監獄局長 山岡 萬之助君

司法省參事官 秋山 高三郎君

司法事務官 宮城 長五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○鶴澤委員長 前會ニ引續キ、是ヨリ刑事訴訟法案ノ委員會ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ、野副重一君ニ發言ヲ許シマス

○野副重一君 刑事訴訟法ノ問題ハ多年ノ懸案デゴザイマシタガ、當局並ニ司法界ノ有力ナル諸君ノ御盡力ニ依リマシテ、茲ニ其成案ヲ得マシテ、吾々ガ此審議ニ參加スルコトガ出來マスルコトハ、非常ニ欣ビトスル所デアリマス、是マデ見タル所ノ成案ノ中ニ於テ、今回ノ分ガ最モ進歩シタルモノト思フノデアリマス、殊ニ在野法案ノ意見——民間ノ主張等ニ餘程耳ヲ傾ケラレタ點ガアルヤウニ思ヒマス、本員ハ大ナル満足ヲ以テ此案ヲ迎ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ各條ニ涉リ質疑若クハ意見等ハ、後ニ譲リマシテ、茲ニ二三此案ノ方針ニ付テ、質問ヲ致シテ見タイ點ガアルノデアリマス、其第一ハ、此刑事訴訟法ニ於テハ、婦人ノ人格ニ對シテ適當ナル考慮ヲ費シテナイノデアアルマイカト云フ事デアリマス、ソレハ昨日或ル御方ノ質問ノ中ニモ、其一端ガ出タノデアリマスガ、條文ノ根據カラ申シテ見マスレバ、刑事訴訟法案ノ第三十九條、第四十七條、百十五條、三百八十條ト云フヤウナ所ニ當ッテ居ルノデアリマス、三十九

條ハ被告人ノ法定代理人、保佐人、直系尊屬、直系卑屬及夫並被告人ノ屬スル家ノ戶主、斯ウ云フ者ニ獨立シテ辯護人ヲ選定スル權利ヲ與ヘテアルノデアリマス、昨日ノ政府委員ノ説明デハ、婦人ニ獨立シテ權利ヲ行使セシムルコトハ、考慮スベキ事デアルト云フヤウニ御説明デゴザイマシタガ、ソレハ此案ト一致シテ居ナイ、何故ト申セバ、被告人ノ法定代理人若クハ保佐人ト云フ者ハ、民法ノ規定ノ上ニ於テ、當然人ノ妻タル者ガ爲リ得ルコトデアアル、即チ民法ノ九百二條、九百九條ヲ見レバ分ルノデアリマス、即チ九百二條ニ依リマスレバ、其第三項ニ、夫ガ禁治產ノ宣告ヲ受ケタル時分ニハ、妻ガ後見人ニナルト云フコトデアアル、是ハ法定代理人デアリマス、ソレカラ九百九條ニハ、前七條ノ規定ヲ保佐人ニ之ヲ準用スト云フコトデアアル、即チ準禁治產ノ宣告ガアレバ、妻ガ保佐人ニナルノデアリマス、サウ致シマスト云フト、此案ノ第三十九條ノ被告人ノ法定代理人、保佐人ト云フ中ニハ、婦人、妻ガ包含サレル場合ガ幾ラモアリ得ルノデアリマス、デアリマスカラ、婦人デアアルカラ獨立シテ權利ヲ與ヘナイト云フ趣旨ガ、一貫シテ居ル譯デモナイ、ソレカラ又此三十九條ノ直系尊屬、直系卑屬——直系尊屬ニハ勿論婦人ガアリ得ルノデアリマシテ、阿母サント云モノハ直系尊屬デアアルノデアリマス、又娘ト云フモノハ直系卑屬デアリ得ルノデアリマス、サウスルト母ナル婦人、娘ナル婦人ニハ、辯護人ヲ選定スルコトヲ獨立シテ權利ヲ與ヘテ置イデ、一番ニ其被告人ニ對シテ利害ヲ痛切ニ感ズル所ノ妻、而モ妻ト云ヘバ相當ノ年配ヲ持ッテ、相當ノ辯護力ヲ持ッテ居ル年齢ノ人デアアルノデアリマス、其妻ニ對シテ特ニ權利ヲ與ヘナイト云フ理由ガアリ得ルコトガアリ得ルモノデアナイ、而モ今日ノ婦人ノ地位ト云フモノハ、非常ニ向上サレナケレバナラヌノデアアル、妻デアアルカラ、非常ニ向上サレナケレバナラヌノデアアル、妻デアアルカラ、婦人デアアルカラト云フノデ、夫ニ對スル妻——配偶者トシテ法律ヲ認メラレ、一般ニサウ取扱ハレテ居ルノニ、良人ガ刑事被告人ニナツ場合ニ於テ、妻ニ對シテ相當ナル權利ヲ認メナイト云フコトハ、道理ニ於テモアルベキ筈デハナシ、又政府委員ガ説明サレタル所トモ、法文ガ大變ニ低觸ヲシテ居ル所モアルノデアリマス、此點ニ付テハ、政府委員ニ於テモ相當ニ考慮サルベキ必要ガアルト思フノデアリマス、ソレカラ法案ノ四十七條、此案ノ四十七條ハ輔佐人トナ

ルコトノ出來ル者ハ、唯今申シマシタ三十九條ニ規定シテアルヤウナ種類ノモノデアッデ、是ニモ妻ヲ入レテナイ、是ハ矢張三十九條ニ付テ述ベマシタト同ジ理由ニ於テ、現ニ婦人輔佐人ニナリ得ル場合ガ幾ラモアルト云フコトハ法律ニモ認メテ居ルノデアリマスカラ、刑事被告人ニ一番適切ナル關係ヲ持ッテ居ル、夫婦位密接ナル關係ヲ持ッテ居ルモノハナイノデアリマス、其一番ニ密接ノ關係ヲ持ッテ居ル妻ニ對シテ、權利ヲ認メナイト云フ理由ガ何所ニアルカ自分ニ於テハ諒解スルコトガ出來ナイ、ソレカラ第百十五條ハ保釋ノ請求デアリマス、保釋ノ請求ヲスルコトヲ妻ニ許サナイ、矢張今ノ三十九條、四十七條ト同ジヤウナ種類ノ人ニ許シテ、妻ニ許サナイ、妻ニ許シテドウ云フ害ガアルノデアリマセウカ、自分ハ諒解スルコトハ出來ナイ、親モナケレバ子供モナイ、夫婦ギリデアッデ見レバ、誰モ他ニ良人ヲ世話スル者ハナイ、亭主ガ監獄ニ入ッタナラバ、女房ガ世話ヲスルヨリ外ニ世話ヲスル者ハアリハシナイ、一番適切ノ利害ヲ感ズル者ニ保釋ノ請求ヲ爲スヲ許サナイ、而モ婦人ト云フ爲ニ許サナイト云フコトデアリマシタナラバ、社會ノ現狀ニ適應シナイ——順應シナイ立法デアルト謂ハナケレバナラヌヤウナ感ジガアルノデアリマス、ソレカラ法案ノ第三百八十條ハ獨立シテ上訴ヲ爲シ得ル場合デアリマス、是モ被告人ノ法定代理人、保佐人、又良人ニ被告人ノ爲ニ獨立シテ上訴ヲ爲スコトヲ許ス、妻ハ現ニ法定代理人若ハ保佐人ト爲リ得ルコトハ、前キニ申上ゲタ通りデアリマス、此妻ニ何故ニ上納ヲ許サナイノデアアルカ、此點ハ私ノ諒解ニ苦シムノデアリマス、法典ノ審查ニ從事シタル諸君ハ、今日ノ社會ノ實狀ト云フコトニ能ク思ヒ到ラナイデ、少シ頑固ナ考ヲ持ッテ、婦人ニ出シヤ張ラセナイト云フヤウナ意味合デ斯ウ云フ法文ヲ作ラレタト云フコトデアアルナラバ、是ハ由々シキ大事デアアル、甚ダ考慮シナケレバナラヌ點デアアル、是ト又反對ニ、此婦人ニ關係スル點ニ於テ、又一種特殊ノ立法ガアル、ソレハ法案ノ三百三十七條デアリマス、是ハドウ云フ事ヲ書イテアルカト申シマス、法案ノ三百三十七條ノ第二項ニ、被告人婦女ナルトキハ、辯護人ヲ裁判所ガ附スルコトガ出來ル、是ハ有難迷惑ヲラウト思フ、婦女デアアルカラシテ辯護人ヲ附ケルト云フコトデアリマスタラバ、婦人ト云フモノハ、全ク無能力視シテ居ルノデアアル、是ハ一面婦人ヲ保護スルコト云フ意味カラ出タノデアリマセウカラ、昔ハ是デ宜カッタノデアリマセウ、今日ノ婦人ハ恐ラク満足

シナイデアアラウド思ヒマス、又此規定ガナクトモ、三百三十
七條ノ第五項ニハ、其ノ他必要ト認ムルトキト云フ事ガ
アリマスカラ、必ズ婦人デナクテモ、男デモ婦人デモ、辯護
人ガ必要デアルト云フ時分ニハ、裁判所ハ辯護人ヲ附スル
コトガ出來ルノデアアル、特ニ婦人ガ劣タルモノ、如ク待遇
ヲスル立法ト云フモノハ、甚ダ今日ノ社會ニ適應シナイ
云フ感ジガスルノデアアル、ソレデアリマスカラ、政府ハ此法
案ヲ作製スルニ當リマシテ、特ニ婦人ト云フモノノ劣テ居
ルモノデアアルカノ如ク、或ハ婦人ト云フモノニ或權利ヲ行
使セシムルコトハ、危險デアアルト云フ風ニ考ヘラレタノデ
アリマスカラ、ソレハ甚ダ間違タル考デアアルト自分ハ思
フノデアリマス、此法典ノ調査編成ニ當リマシテハ、婦人、
殊ニ被告人ノ妻ニ對シマシテ執ラレタル所ノ觀念ト云フモ
ノヲ、此場合ニ聽イテ置キマシテ、後ニ自分ガ態度ヲ決スル
參考ニ供シタイト思フノデアリマス、他ニ質問ヲ致シタイ
簡條モアリマスカラ、條項ヲ追ウテ簡條々々ノ質問ヲシタイ
ト思ヒマス、先ズ是ダケヲ御答ヲ願ヒマス

○林政府委員 婦人問題ニ付キマシテ、色々御話ヲ承リマ
シテ、大ニ得ル處ガアリマシタ、併ナガラ本案ノ趣意ハ、決
シテ蔑視シテ居ルノデアナイト云フコトハ、前會ニ私ハ明白
ニ申シテ居リマス、前會ニモ婦人ヲ決シテ輕ク視ル譯デナ
イ、唯辯護人選任ト云フコトニ付キマシテ、妻タル婦人ニ其
權利ヲ與ヘズトモ差支ナイ、斯ウ云フ考デアアルコトヲ申シ
テ居リマス、本案ハ決シテ婦人ト男子トヲ根本カラ區別致
シマシテ、男子ヲ重シ、婦人ヲ輕シル趣意デナイ、サウ
云フ次第デ、只今モ御引用ニナツタヤウニ法定代理人或ハ親
族又ハ保佐ト書イテアル中ニ、婦人ガ入ッテ居ルコトハ疑
ナイコトデアリマシテ、此ノ如キ場合ニ婦人ハ男子ト同ジ
ク訴訟手續上ニ關與スルコトガ出來ルコトハ明白ナ次第
アリマス、殊ニソレノミナラズ檢證搜索等ニ關シマシテハ、
婦人ノ人格等ヲ尊重スル意味カラシテ、特別ノ規定マデモ
設ケテアリマス、大體ニ於テ男子ト婦人トヲ區別スル精神
デナイト云フコトハ、本案ヲ通ジテ少シモ疑ガナイコトデ
アリマシテ、本案ニハ特ニ許可ヲ得テ辯護士以外ノ者ガ辯
護人トナル規定ガアリマスカラ、斯ノ如キ場合ニ於テ、婦人ヲ
除外シテナイ、婦人デモ裁判所ノ許可ヲ得レバ、辯護人トナ
フテ法廷ニ立ッテ辯護スルコトガ出來ルコトニナツテ居ル、三
百三十七條ノ辯護人ヲ官選スルコトヲ、婦人ヲ輕シル趣
意ニ御解釋ニナツタヤウニ聽取リマシタガ、ソレハサウ云フ
意味デナイ、素ヨリ今日ノ婦人ハ、段々進歩シテ參リマシテ
男子ト拮抗スルダケノ力ノアル者ノアルコトハ事實デアリ
マス、併ナガラマダ全體ガ男子ト同一ト云フコトハ、今日
デハ見ラレナイ、婦人ニハ隨分總テノ點ニ於テ劣ッテ居ルモ

ノガアルト云フコトハ事實デアリマス、サウ云フヤウナ者
ガ被告人トナツタ場合ニ、之ヲ保護スル意味ニ於テ、官ニ於
テ選ブ、斯ウ云フコトハ、婦人ヲ保護スル方面カラ至當ノ事
デアリマス、是ハ婦人ヲ輕シルノデアナイ、根本ノ精神ハ矢
張婦人ヲ保護スル意味デアルト思ヒマス、素ヨリ裁判所ハ
必要ト認ムルトキハ、辯護人ノ官選ガ出來ルコトニナツテ
居リマスカラ、御意見ノ如ク致シマス、婦人ノミナラズ、外
ノ場合モ法文ニ學ブデモヨイコトニナリマスカラ、特ニ著
シク注意ヲ喚起スル必要ヲ認ムル場合ガ法律ガ例示シタ
デアリマシテ、是ハ婦人問題ニ關係ガナイ、唯シカリシタ
夫ノアル婦人、之ニ付テハ多少二三ノ場合ニ於テ差別ノア
ルコトハ法文デ明瞭ニナツテ居ル通りデアリマス、詰リシ
カリシタ夫ノアル場合ニ、婦人ガ必シモ自己ノ判斷ノミニ
依ッテ其行動ヲ定メナクテモ、實際ニ於テ差支ナイ、斯ウ云
フ考デアリマス、民法ニ於キマシテモ、妻ニ付テハ特別ノ規
定ガアリマシテ、限定無能力者トシテアリマス、サウ云フ次
第デ一般ノ婦人ヲ輕シルコトハ全然ナイ、其意味ニ於テ
御諒解ヲ願ヒマス

○野副委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ハ、半バ要領ヲ得テ
居リマセス、刑事被告人ガ無辜主トナツタ場合ニ、立派ナ亭
主ガアツテ、相談相手ガ出來ルト云フコトハ、想像ガ出來ヌ
話デアリマスカラ、刑事被告人トナル場合ニ於テハ、妻ニ對
シテ最モ十分ナル力ヲ與ヘルコトガ適當ト思ヒマス、ソレ
ハ意見ノ相違デアリマスカラ、強ヒテ追窮ハ致シマス、適
當ナ場合ニ於テ自分ノ意見ヲ提出スルコトニ致サウト思ヒ
マス、ソレカラ第一ニ證據ノ問題、法案ノ條文ヲ見マスレバ
三百三十八條、三百三十九條ソレカラ三百四十五條或ハ三
百四十二條等モ入ッテ居リマス、其他ニモアルカモ知レナイ
此點ニ付テ、私ハ常ニ日本ニ於キマシテハ、此證據ト云フ觀
念ガ全ク無イト言ウテモ宜イ位ナコトデアリマシテ、平生
遺憾ニ感ジテ居ル、ソコデ他ノ場合ニ於テモ、政府ニ於テハ
證據ニ關スル所ノ立法ヲ爲ス考ハナイカト云フコトヲ質問
シタ事モアルヤウデアリマス、其考ガナイモノ、ヤウ
デアリマス、是ハ從來ニ於キマシテモ、議會ニ於テモ度々問
題ニナツタコトデアリマシテ、四十三議會ニ於テモ、四十四
議會ニ於テモ、特別ノ立法ガ提案ニナツタト云フコトハ、昨
日ノドナタカノ質問ノ中ニモ見エタ位デアリマス、ソレデ
法案ノ三百三十八條ニ據リマスレバ「事實ノ認定ハ證據ニ
依ル」所謂證據裁判ト云フコトニ原則ヲ定メタ、法案ノ三百
三十九條ニハ「證據ノ證明力ハ判事ノ自由ナル判斷ニ任ス」
斯ウ書イテアル、是モ法文ヲ讀ンダ所デハ、何等ノ差障リガ
ナイヤウニ見エルノデアリマスカラ、併シ其證據ハ何デア
ルト云フコトニ付キマシテ、ドウモ我國ノ立法者若クハ執

行官ガ能ク諒解ヲシテ居ナイ、例ヘバ訴訟事件ニ關シテ、
司法警察官等ガ作タル所ノ聽取書デアルトカ、或ハ匿名ノ
投書デアルトカ、或ハ又相被告ノ供述デアルトカ、或ハ素行
調查デアルトカ、斯ウ云フヤウナ書類ノモノヲ以テ何デモ
紙ニ字ガ書イテアリサヘスレバ、ソレデ證據トナルモノ、
如ク判事ガ思ッテ居ラル、從來度々裁判ノ問題トナツテ居
リマス司法警察官ノ聽取書ノ如キハ、或ハ私ハ刑事訴訟法
ノ解釋トシテモ、是ハ證據ニナラヌモノデアアルト思フ、其事
ハ今回ノ議會ニ於テモ、或ハ之ヲ述ベル機會ガアツタデア
ラウト思ッテ居タノデアリマス、此刑事訴訟法案ヲ提出ニ
ナリマシタカラ、其機會ハ現ニ消滅スルコトニナルノデア
リマス、現行ノ刑事訴訟法ニ於キマシテハ、證據ト云フ一節
ガ掲ゲテアリマシテ、其證據ト云フ事ニハ第九十條ニ被告
人ノ自由、官吏ノ檢證證書、證據物件、證人及鑑定人ノ供述
其他諸般ノ微憑ハ判事ノ判斷ニ任スルコト云フコトガ書イ
テアリマス、其他諸般ノ微憑ハ「ト云フ」字ガアリマスカラシ
テ、此文章ガ多少濁ッテ居リマス、居リマスケレドモ、法文ニ
ハ被告人ノ自由、裁判所ニ於テ被告ガナシタル陳述、或ハ
官吏ノ檢證證書、證據物件、證人及鑑定人ノ供述トシテ、其
他此法律ガ長ク行ハレテ居テ、今日ノ日本ノ裁判所デハ、
相被告人ノ供述ヲ唯一ノ材料ニシテ居ル、是ハ實ニ驚キ入
テ話デアル、英國デハ御承知ノ通りニ、若シ相被告ヲ調べ
ケレバ他ニ證據ガナイト云フ時分ニハ、其相被告ナナル者
ニ、特ニ犯罪ノ責任ヲ免除シテ居ル、是ハ「キングスロー」
一王ノ法ト云フモノニナツテ居ル、其人ニ對シテハ一切ノ
責任ヲ解除シテ、自由ニ陳述ヲナシメテ、ソレヲ證據ニ取
ルノデアリマス、然ルニ我國ニ於テハ從來單ニ相被告ノ供
述ヲ證據ニスルノデアリマスカラ、誤判百出デアアル、私
ノ三十年ノ經驗ノ上ニ於テ、此相被告ノ供述ニ依ッテドレダケ
ノ誤判ガアツタカト云フコトハ、殆ド數ヘ盡セナイ、是ハ長
ク裁判所ニ御經驗ノアル政府委員モ、十分御承知ノコト、
思フ、ソレハ證據トナスベカラザルモノヲ證據トシテ居ル
カラ、斯様ナ事ガ起ル、或ハ警察官ノ聽取書、或ハ匿名ノ投
書、是ハ何等責任ヲ有スルモノデアリマセス、其文書ニ付
テハ、何人モ責任ヲ持ツモノデアナイ、サウ云フモノハ法律
ニ依ッテ作製スベキ文書デモ何デモナイ、法律上效力ノ無イ
モノヲ、裁判所ニ出シテ判事ニ見セルノデアリマスカラ、判
コトハ幾ラ——是ハ何人ト雖モ惑フノデアリマス、證據力
ナキモノヲ裁判所ニ出スト云フコトハ、此位危險ナ事ハ無
イノデアリマス、デアリマスカラ、ドウシテモ此法律ニ於テ
ハ、裁判所ニ於テ證據トナリ得ルモノト、證據力ノ無イモノ
トノ區別ヲ立テル必要ガアルト思フ、法案ニ於テハ、其點ニ

付テ多少注意サレタノハ、先刻引用致シマシタ第三百四十二條ノ第二項ニ「單ニ風説又ハ素行ヲ記載シタル書類ニシテ人ノ名譽ヲ毀損スル虞アルモノハ之ヲ朗讀スルコトヲ得ス」ト書イテアル、之ヲ書イテアルノハ、既ニ素行調査書ト云フモノヲ證據材料ニスルコト云フ意味ト見エ、素行調査書ナドト云フモノヲ證據材料トスルコト云フヤウナコトデハ、非常ニ我國ノ裁判ガ遲レテ居ルト謂ハナケレバナラス、又英國ノ例ヲ引クヤウデアリマス。英國ニ於テハ法律ガ一番良ク行ハレテ居ルト云フコトデアリマシテ、吾々ハ平素尊敬シテ居ルカラ申スノデアリマスガ、被告人ガ自分ハ平生品行善良ナル者デアルト云フコトヲ言フ、裁判所ヲ動かスト云フ時分ニ、始メテ素行ノ事ヲ言フノデアリ、品行ノ悪い者デアルト云フコトヲ言ヘバ、自然品行ガ悪いカラ、證據ハ薄弱デモ是ハ罪ヲ犯シタラウト判斷スル方ニ傾キ易イ、サウ云フコトニ付テモ、非常ニ用心ヲシテ裁判スルノデアリマス。人民ガ裁判ニ信頼スルコトガ厚イノデアリマス、何デモ彼デモ無責任ナル文書ヲ以テ之ヲ證據材料トスル時分ニハ、ドウ云フ冤罪ガ生ジナイトモ限リマセヌ、無名ノ投書ニ何人ガ責任ヲ負ヒマスカ、警察官ノ聽取書、何人モ責任ヲ負フ者ハアリマセヌ、サウ云フ者ヲ證據材料トシテ、尙ホ今日ニ於テモ維持シヤウト云フ考ハ、非常ナル誤ト思フ、現ニ法案ノ三十四條ニ於テ「被告人其ノ他ノ者ノ供述ヲ錄取シタル書類ニシテ法令ニ依リ作製シタル訊問調査ニ非ルモノハ左ノ場合ニ限リ之ヲ證據ト爲スコトヲ得」ト云フコトガ書イテアリマシテ、三ツノ場合ヲ擧ゲテアル、ソレカラ第二項ニ於テ「區裁判所ノ事件ニ付テハ前項ニ規定スル制限ニ依ルコトヲ要セス」ト書イテアルカラ、何デモ宜イトシ云フコトニナル、詰リ是ハ證據ト云フモノニ付テノ觀念ガ誠ニ不徹底ナル、從來ノ觀念ヲ繼承シタモノト思ハレノデアリマス、折角進シタル立法ヲシヤウト云フ時分ニハ、由々シキ缺陷デアルト思フ、問題ハ證據問題デア、其證據ト云フモノモ、證據ノ效力ノ有無ト云フコトデハナイ、或物ニ證據力ヲ與ヘルカ與ヘナイカ、裁判所ニ出スコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ問題ヲ、此法案ニ據ルト、殆ド何デモ限リナク裁判所ニ提出スルコトガ出來ル、ソレハ何デモ判事ガ自由ニ判斷出來ルト云フヤウニ取ラレタモノト思フ、政府ニ於テハ刑事事件ニ於テ、證據トナルモノトナラザルモノトノ間ニ、區別ヲ置イテ居ラヌヤウデア、證據トナラザルモノノ何故斯ウ云フモノヲ入レルノデアアルカ、私只今申シマシタ簡條ニ於テ、例ヘバ無名ノ投書デア、或ハ個人ノ始末書デア、或ハ相被告ノ供述デア、風説ヲ記載シタル文書デア、素行調査デア、ト云フヤウナモノハ適當ナル證據力アリト政府ニ於テハ考ヘテ居ラレルノデ

アルガ、ソレガ進歩シタル立法デアルト云フ御考デアリマス、恐ラク歐米何處ノ國ニ於テモ、斯ノ如キモノガ證據ニナツテ居ルト云フコトハナカラウト思フ、是ハ誤判ハ惹起ス重大ナル關係ノアルモノデアリマス。事件ニ對スル證據ノ範圍、竝ニ之ヲ裁判所ニ提出スルコトノ手續ニ付テ、本員ガ只今申上ゲマシタ點ニ付テ參酌セラレテ詳細ナル御説明ヲ承リタイノデアリマス。

證據材料トシテ、前科ガアルカラ此犯罪ヲ犯シタルデア、斯ウ云フヤウナコトヲ許サスト云フコトハ、判決例ニモ明白ニ決ツテ居リマス、ソレカラ素行等ニ關スルコトデアツテモ、ソレハ十分ナル根據ノアル事實デナク、全ク素行ニ關スル意見ヲ書イタ書類ト云フモノハ、是ハ性質上證據ニナラヌト云フコトモ、判決例ガ確定シテ居リマス、ソレカラ又無名ノ投書ノ如キ書類ノ證據ニナラヌト云フ事モ、學問上確タル事實デア、サウ云フ事ヲ一々法文ニ列舉スルコトハ困難デアリ、却テ遺脱ガ起リマセウ、ソレ故ニ學問上證據ノ性質上證據ニナラヌト云フコトガ決ツテ居ルノハ、特ニ明文ヲ要セス次第デアリマス、本案ニ於テ特ニ其事ヲ確ニ條文ニ書キマセヌデモ、矢張同一ノ結果ニナルト思ヒマス、只今色々御話ニナツタ事項ノ中デ、或ハ本案ニ於テハ證據トナルト云フヤウナモノモ、中ニハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ各事項ニ付テ、銘々ノ考ノ違ヒニ歸スルコト、思ヒマス、大體此案ハ現行法ヨリ、是等ノ點ニ付キマシテ、數等注意ガ行届イテ居テ、是デ差支ナイト思ヒマス。

○林政府委員 證據ノ問題ハ、刑事訴訟手續ニ於テ最重要ナル事柄デアリマス。此問題ニ付テハ、隨分慎重ニ審議セラレマシテ、幾多ノ論ガアリマシタ、併シ結局此案ノヤウニ纏マリマシタ次第デアリマス、只今引用サレマシタ三百四十五條、是ガ現行法ニ比シテ本案ノ特色デアリマス、從來聽取書等ニ付テ、大分世間カラ非難ガアリマシテ、斯ウ云フモノハ證據ニ取ラヌ方ガ宜シイト云フコトガ、有力ナル方面カラ主張サレテ居カ、サウ云フ次第デアリマス。法令ニ依ッテ作製シタル訊問調査以外ノモノデ、人ノ供述ヲ錄シタ書類ハ、原則トシテ證據トナラナイト云フコトヲ明ニシテ、即チ聽取書ノ如キモノハ、原則的ニハ證據材料ニ出來ナイト云フコトデ、茲ニ證據材料ニ付テノ大ナル制限ヲ設ケタ次第デアリマス、但シ第二項デ區裁判所ニ於テハ第一項ノ制限ニ依ルコトヲ要セストシマシタ理由ハ、區裁判所ノ事件デ、隨分簡單ナ問題ノ場合、一々關係者ヲ直接裁判所ニ調ベ、例ヘバ竊盜事件ニ付テ、被害者ヲ喚出シテ證人トスルコトニナリマス、確實ハ確實デアリマセウガ、併ナガラ隨分被害者カラ見ルト、迷惑至極ナ話デ、泥棒ニ羅ッテ非常ニ難儀ヲ被ツテ居ルノハ、警察官調ベテ受ケル、檢事ノ調ベテ受ケル、受ケル、公判ヘモ能ハ、出テ行ッテ證人ニ立タネバナラス、斯様ニ被害ヲ受ケタ上ニ尙ホ是レデハ、非常ニ迷惑ヲ被ル人ニ依ッテハ、殆ド之ニ堪ヘヌ者モアリト云フコトハ、從來ノ事實カラシテモ論證ガ出來ルノデアリマス、ソレデ實際ニ於テハ、竊盜ナドノ事件ノ明白ナ時ハ、警察カラ被害者ノ家ヘ能ハ、掛リノ者ガ行ッテ盜難聽取書ト云フモノヲ作ッテ來ル、是ハ間違ヒモ何モ起ラナイ、サウシテ之ヲ證據トシテ裁判スル、區裁判所ノ事件ハ多數是デア、サウ云フ譯デ、一々訊問調査デナケレバ證據ニナラヌ、證言ヲシナケレバ證據ニナラヌト云フコトデハ實際上非常ニ各方面ニ於テ不都合ヲ生ズル、斯ウ云フコトニナリマス。ソレ等ノ點ヲ考慮シテ、第二項デ第一項ニ付テノ例外ヲ設ケタ次第デアリマス、其他法文ニ一々規定シマセヌデモ、學問上法文ノ精神ノ解釋ノ上カラ、明文ガナクテモ、或ル書類ト云フヤウナモノガ證據ニナラヌト云フコトハ、是ハ疑ハナイコト、思ヒマス、現行法ニ於キマシテハ、何モ制限ハナイ、諸般ノ徵憑トアツテ、制限モ何モナイ、併ナガラ例ヘバ前科ヲ

證據材料トシテ、前科ガアルカラ此犯罪ヲ犯シタルデア、斯ウ云フヤウナコトヲ許サスト云フコトハ、判決例ニモ明白ニ決ツテ居リマス、ソレカラ素行等ニ關スルコトデアツテモ、ソレハ十分ナル根據ノアル事實デナク、全ク素行ニ關スル意見ヲ書イタ書類ト云フモノハ、是ハ性質上證據ニナラヌト云フコトモ、判決例ガ確定シテ居リマス、ソレカラ又無名ノ投書ノ如キ書類ノ證據ニナラヌト云フ事モ、學問上確タル事實デア、サウ云フ事ヲ一々法文ニ列舉スルコトハ困難デアリ、却テ遺脱ガ起リマセウ、ソレ故ニ學問上證據ノ性質上證據ニナラヌト云フコトガ決ツテ居ルノハ、特ニ明文ヲ要セス次第デアリマス、本案ニ於テ特ニ其事ヲ確ニ條文ニ書キマセヌデモ、矢張同一ノ結果ニナルト思ヒマス、只今色々御話ニナツタ事項ノ中デ、或ハ本案ニ於テハ證據トナルト云フヤウナモノモ、中ニハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ各事項ニ付テ、銘々ノ考ノ違ヒニ歸スルコト、思ヒマス、大體此案ハ現行法ヨリ、是等ノ點ニ付キマシテ、數等注意ガ行届イテ居テ、是デ差支ナイト思ヒマス。

○野副委員 只今政府委員ノ説明ノ中デ、本員ガ最も氣ニ喰ハス所ガ一ツアリマス、ソレハ泥棒ノ難ニ羅ッテ者ガ、裁判所ニ呼バレルノハ、非常ニ迷惑ヲ感ズルト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フコトデアツテハ、裁判ト云フモノハ旨ク行クモノデハナイ、苟モ泥棒ニ羅ッテカラト云ツテ、裁判所ヘ出ナイ、全體ノ人民ガサウ云フ考ヲ有ツテ居テハ、仕方ガナイ、政府モ判決スルコトガ出來ナイ、即チ是ハ社會ノ平和ト云フコトヲ維持スルコトガ出來ナ、餘程考ヘナケレバ、連モ世ノ中ノ秩序ハ保ッテ行ケナイ、何ンデモ彼デモ政府萬能、官憲萬能ヲヤルカライケナイ、法律モ亦サウ云フ風デ、人民ガ迷惑デアラウガ、間違ヒガアツテモ構ハナイ、斯ウ云フ趣旨デハ、根本ガ間違ッテ居ルト思フ、犯罪ガアレバ、自分ノ生命ヲ掛ケテモ、警察官デナクテモ防グト云フ覺悟ヲ人民ガ有タナクテハナラヌ、何カ犯罪ガ起ルト云フ覺悟ヲ人民人間ハ、皆逃ケテ行ッテシマツテ居ルト云フコトデハ、社會ノ秩序ハ維持サレルモノデハナイ、法律ニ於テ人民ヲシテ何デモ彼ンデモ責任ヲ免レルヤウニシヤウト云フ考ヲ有ツタ法律デヤ、連モ駄目デア、泥棒ニ羅ッテガ人民カラ告訴シナケレバ、ソレデ宜シイト云フノナラバ、ソレデモ宜ロシイ、縱令一厘デモ一錢デモ盜マレタ以上ハ、百圓羅ッテモ、千圓羅ッテモ、其犯跡ヲ明ニスルコトヲ覺悟ヲ有ツテ居ナケレバナラヌ、ソレデナケレバ竊盜シナケレバ、間違ツテ盜盜シタコトトナツテハ、大變ナ話デア、ソレデモ、必シモ總テ證據ト云フモノニ依リ、證據人ヲ呼バナクテヤナラヌト限ツコトハナイ、泥棒ニ羅ッテモ、被害者ガ遠慮シテ居テ告訴シナケレバ、裁判所ガ間違ッテモ宜シイト云フ、サ

證據材料トシテ、前科ガアルカラ此犯罪ヲ犯シタルデア、斯ウ云フヤウナコトヲ許サスト云フコトハ、判決例ニモ明白ニ決ツテ居リマス、ソレカラ素行等ニ關スルコトデアツテモ、ソレハ十分ナル根據ノアル事實デナク、全ク素行ニ關スル意見ヲ書イタ書類ト云フモノハ、是ハ性質上證據ニナラヌト云フコトモ、判決例ガ確定シテ居リマス、ソレカラ又無名ノ投書ノ如キ書類ノ證據ニナラヌト云フ事モ、學問上確タル事實デア、サウ云フ事ヲ一々法文ニ列舉スルコトハ困難デアリ、却テ遺脱ガ起リマセウ、ソレ故ニ學問上證據ノ性質上證據ニナラヌト云フコトガ決ツテ居ルノハ、特ニ明文ヲ要セス次第デアリマス、本案ニ於テ特ニ其事ヲ確ニ條文ニ書キマセヌデモ、矢張同一ノ結果ニナルト思ヒマス、只今色々御話ニナツタ事項ノ中デ、或ハ本案ニ於テハ證據トナルト云フヤウナモノモ、中ニハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ各事項ニ付テ、銘々ノ考ノ違ヒニ歸スルコト、思ヒマス、大體此案ハ現行法ヨリ、是等ノ點ニ付キマシテ、數等注意ガ行届イテ居テ、是デ差支ナイト思ヒマス。

ウ云フ立法ノ立法ハ法律ノ良ク行ク譯ハナイノデアリ
マスカラ立法者ハ根本精神、即チ人民ガ自分ノ權利ハ自己
ガ擁護シナケレバナラヌト云フ義務ガアルト云フコトヲ自
覺スル、サウ云フ風ナ立法ニシテ貴ヒタイト思フノデアリ
マス、デアリマス、サウ云フ風ナ立法ニシテ貴ヒタイト思フノデアリ
マス、人民ガ迷惑デアラウト云フヤウナ、サウ云フ姑息ナ考
シハ何年経テモ日本ノ法律ハ十分ニ善ク行ハル時代表
ナハ人民ガサウ云フ風ニ何デモ彼デモ官憲ニ依頼スルコ
トデハ、本當ニ自治的堅實ニ國民ノ思想ガ發達スル譯ハナ
イノデアリマス、サウ云フ風ニ私ハ極端ニ御説ヲ拜聴シタ
ノデアリマス、ソレハ銘々ニ意見ガ違ヒマセウガ、今ノ御答
ノ中ニ付テ、私ハ尙ホ一ツ進ンデ御問ヒシテ置キタイノハ、
前ニ政府委員ハ證據トナラナイト云フモノガアルト云フ
コトヲ言ハレタノデアリマスガ、政府委員ノ見込ニ於テハ、
即チ檢察官ガ訴ヲ提起スル材料ニナツタ所ノ調査書類
デ裁判所ニ於テ證據ニナラヌモノハ、此新法實施ノ曉ニ於
テ、之ヲ公判ニ廻ハサナイデ、是ハ檢察官ノ手許ニ留メテ置
クト云フコトヲ勿論御考ヘテ居ラレルコトデアラウト思ヒ
マスガ、從來ノ如ク何デモ彼デモ一括シテ公判ノ方ヘ廻サ
レルト云フ方針ヲ執ッテ居ラレルノデアルカラ、證據力ナシ
トスルト云フノデ、是ハ公判ニ一括シテ廻送シナイト云フ
考ヲ執ッテ居ラレルノデアルカラ、ソレモ此際御尋ネ致シテ置
キタイノデアリマス

○林政府委員 前會ニモソレニ類シテ御尋ガアツタノデア
リマスガ、其際御答シタ通り、訴訟記録ニドレ程ノモノヲ綴
込ムカト云フコトハ、今日デモ基本的ノ法則ガアリマセヌ、
ソレデ慣習ニ依ッテヤッテ居ルヤウナ次第デ、各裁判所區々
ニナツテ居リマス、ソレデアリマス、將來之ヲ統一スル
必要ガアル、ソレニ付テ今政究中デアルト云フコトヲ申シ
テ置キマシタ、其問題ヲ決スルトキニ、自ラ定マルコト、思
ヒマスルガ、要スルニ證據トナラヌモノヲ證據書類トシテ
裁判所ニ出スト云フコトハ、手續ニ於テ無イコト、考ヘテ
居リマス

○野副委員 私ハモウ一箇條ダケ質問シテ置キタイト思
ヒマス、ソレハ上訴權竝ニ正式裁判請求權ノ拋棄ト云フ事
デアリマス、法案ノ根據ハ三百八十四條其他デアリマス、此
法案ニ據レバ、上訴ニ付テハ、控訴ハ期間ヲ七日トシ、上告
ハ五日トセラレテ、從來ヨリ多少延長サレタノデアリマス
ソレカラ略式命令ヲ受ケタ場合ニ於テハ、廢本ノ送達アツタ
日ヨリ七日以内ニ正式裁判ノ申立ヲ爲スコトガ出來ルト五
百三十條ニ定メテアリマス、此略式命令ニ對スル正式裁判
ノ請求權ヲ拋棄スルト云フコトハ、從來ノ立法ニ於テハ認
メテ居タ所デアリマスガ、所謂上訴權——控訴上告ノ權利
ヲ拋棄スルト云フコトハ、新シイ規定デアル、是ハ或ハ檢察
官ノ公訴權ヲ拋棄スルト云フ規定ガ新ニ設ケラレタ所ガゴザ

イマスルカラシテ、其等ニモ照應セラレタコトデアルカモ
知レマセヌガ、控訴權若ハ上告權ヲ豫メ拋棄セシメルト云
フ理由ハ、自分ニ於テハ全然ナイヤウニ思フ、控訴期間ハ七
日——此七日ノ期間ハ、何ノ爲ニ置イテアルカト言ヘバ、言
渡サレタル判決ニ對シテ、上訴ヲスルカシナイカ、更ニ覆
審ヲ求ムルヤ否ヤト云フコトヲ考慮ノ時間ヲ與ヘテ居ルノ
デアル、判決ヲ受ケタ時分ニ、判決ノ廢本モ下ゲルデアリマ
セウシ、或ハ又相當ノ法律知識ノアル人ニ頼ンデ、研究モ遂
グルデアリマセウ、サウシテ果シテ控訴スルヤ否ヤヲ考慮
セシムル爲ノ期間ヲ與ヘテ居ルノデアル、上告ノ猶豫期間
モ同様デアリマス、之ヲ豫メ拋棄シテ、私ハドシナ裁判ヲ受
ケテモ控訴ハシマセヌ、或ハ控訴ノ言渡ヲ受ケタ時分ニ、此
上ハ上告ヲシマセヌト云フコトヲ言ハセル理由ハ何處ニア
ルカ、公判始末書ハ五日以内ニ整理スルコトニナツテ居ル、
五日間ハ裁判所ニ於テ、少クモ事務ヲ執ッテ居ルノデアル、
何ニモサウ取急イデ、折角與ヘタ期間ヲ無ニシテ、被告人
ヲシテ拋棄セシメナケレバナラヌト云フ理由ハナイデアラ
ウト思フ、又其當座ニ於テ、被告人ガ控訴シナクテモ宜イト
思ウテモ、段々考ヘテ、控訴シマセヌト云フコトニナルデアラ
ウト思フ、此控訴上告權ヲ拋棄セシメナケレバナラヌト云
フ理由ハ、何處ニモ在ルマイ、是ハ勳モスルト非常ナ弊害ヲ
醸スノデアル、現ニ——非常ニ良イ制度デアルケレドモ、實
際ニ於テ時トシテ、弊害ヲ貽シテ居ルノハ、執行猶豫ノ制度
デアリマス、是ハ制度トシテハ實ニ良イ制度デアルケレド
モ、輕イ刑ヲ受ケタ被告人ハ、ソレデ満足スル、重イ刑ヲ受ケ
タ所デ、刑ノ執行猶豫デ、監獄ニ行クノデハナイ、緒イ着物
ヲ着ルノデモナイカラ、我慢シテ置カウト云フコトニナル、
選舉違反ナドニハ、サウ云フ事ガ澤山ニアリマス、相被告ハ
非常ニ迷惑スル、一人ハ服罪スル——罰金デ済ンダカラ服
罪シテシマウ、懲役ニナツタ者ハ控訴ヲスル控訴シテ、懲
役ニナル人ガ無罪ニナル、罰金ノ言渡ヲ受ケタ人ハ其儘確
定スル、或ハ執行猶豫ヲ受ケタ者ガ、服罪シテ、執行猶豫ヲ
受ケナイ者ガ無罪ニナルト云フ虞モアル、非常ニ良イ制度
デサヘモ、サウ云フヤウナ結果ヲ貽スノデアリマスガ、此控
訴若ハ上告ノ權ヲ今日ノ儘ニシテ置イテ、何等害ガアル
カ、私ハ害ノアルコトヲ毫モ認メルコトガ出來ナイ、況ヤ正
式裁判ノ請求ト云フコトニ付テ、誰方カラカ質問ガアツタノ
デアリマスガ、是ハ實際ニ於テ非常ニ弊害ノアルモノデス、
正式裁判ノ制度ハ、必シモ惡イコトデナイカモ知レマセヌ
ガ、略式裁判ヲ受ケタ者ニ對シテ、正式裁判ハ請求シナイト
云フ書面ヲ取テ置イテモ、實際、何ノ事カ分ラヌガ、判ヲ捺
ケト言フカラ判ヲ捺シタ云フノデ、直グニ監獄ニ送ラレテ
居ル者ガ澤山アル、サウ云フ事ハ比々皆然リデアル、今日ハ

殘念ナコトニハ、人民ガ十分ニ用意シナイ、官憲ガ強イ事
ヲ言ヘバ、人民ガ自ラ守ル心ガ乏シイノデアリマス、是ハ殘
念デアリマスガ、今日ノ實情トシテ其通りデアル、甚ダ弊害
ヲ若起シテ居ルノデアリマス、折角御設ケナツタ期間
ナラバ、其期間ヲ十分ニ利用セシメテ然ルベキコトデアラ
ウト思フ、私ハ斯ウ云フ制度ニハ全然反對デアリマスルガ、
其實否ハ別問題トシテ、政府ニ於テ上訴權ノ拋棄若ハ正
式裁判ノ請求權ヲ拋棄セシメル、此制度ヲ置ク方ガ宜イト
云フコトヲ主張セラレル理由ヲ承ッテ置キタイ

○林政府委員 略式命令ニ對スル正式裁判ノ請求權ノ拋棄
ニ付テハ、現行法ニモ明白ニ規定ガアリマス、本案ハソ
レガ至當デアルト認メテ、之ヲ襲踏シタニ過ギヌノデアリ
マスガ、只今御話ノ中ニ、略式命令ニ對スル正式裁判申立ノ
拋棄ノ書面ヲ裁判所デ書イテ、被告人ハ何ノ事カ分ラヌニ判
ヲ捺スト云フヤウナ御説ガアリマシタガ、ソレハ、全ク事實
ニ反スルコトデアリマス、唯古イ時代ニ於テハ、便宜ノ爲ニ
裁判所デ拋棄ノ書面ヲ作ッテ置イテ、サウシテ能ク本人ニ事
實ヲ話シテ、本人ノ自由意思ニ依ッテ之ニ署名捺印ヲセシメ
タ事ガアルノデアリマス、併シナガラサウ云フヤリ方ト云
フモノハ、本人ガ後ニナツテ彼シテ他ノ者ニ言フトカ、サウ
デナイニシテモ外部カラ其處ニ疑ヲ挾マレル餘地ガアル、
ソコデサウ云フ事ハ實際本人ノ意思ニ從ッテスルモノデア
ルデモ手續トシテ宜シクナイト云フノデ司法省ハ斷然サウ云
フ事ハ廢メナケレバ、イカスト云フ訓令ヲ出シマシタ、今日
ニ於テハ全國何レノ裁判所デモ斷ジテヤッテ居ラス事柄デ
アルト考ヘテ居リマス、若シ何處カノ裁判所デヤッテ居リマ
スナラバ、十分ニ調査シテ、廢メサセシメ方ヲ講ジナケレバ
ナラヌノデアリマス、サウ云フ事ヲ若シ御承知デア
ラバ御報告ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ又上
訴權ノ拋棄ノ事デアリマスガ、今ノ御話ノ中ニ、豫メ拋棄ラシ
スル、ドウ云フ裁判ニナルカモ分ラヌニ先ヘ拋棄ラシテ
置クト云フ事ガアリマシタガ、是ハ決シテ此案デ認メマセ
ヌ、此案デ認メルノハ勿論判決ヲ受ケタ後ノ事デアリマス、
豫メ拋棄スルト云フコトハ、絕對ニ認メヌ精神ニナツテ居
マス、ソレデ現行法ニ於キマシテハ、檢察官ハ公訴ヲ爲シタ以
上ハ、其運命ト云フモノヲ裁判所ニ一任シナケレバ、イカ
ト云フノデ、上訴ノ取ト云フコトヲ認メナイ、隨テ拋棄ト
云フ問題ハナカッタノデアリマスガ被告人ニ付テハ、現行法
ノ解釋トシテモ、判決ヲ受ケタ後、即チ上訴權ガ發生シタ後
ニ於テハ、其權利ノ拋棄ト云フコトハ認メラレテ居リマス
是ハ實例モ隨分アリマス、サウ云フ次第被告人側ノ拋棄
ト云フコトニ付テ、本案ガ現行法ニ變テ主義ヲ執ッテ趣意
デハアリマセヌ、檢察側ニ付キマシテハ、本案ニ於キマシテ

ハ、任意主義ヲ原則トシテ採ル、而シテ任意主義ヲ徹底シテ
公訴ノ取消ヲ認メル、公訴ノ取消ヲ認メル場合ニハ、上訴ノ
取下ト云フコトモ認メナケレバナラス、サウ云フコトニナ
レバ、上訴權ガ既ニ發生シタ後ニ於テ、其權利ノ拋棄ト云フ
コトヲ認メルノモ、當然ノ事デアラウト考ヘマス、サウ云フ
次第本法案ニ付キマシテハ、上訴ノ拋棄ト云フコトヲ法文
ニ明ニスルヤウニナツタ次第デアリマス、ソレカラ被告人ノ
拋棄ガ、實際的ニ非常ニ弊害ガアルカト云フト、ドウモサウ
云フ事ハナカラウト思ヒマス、法文ニモアリマス通り、被告
人ガ拋棄ヲセントスル場合ニハ、三百八十條ニ規定シタ者
ノ同意ト云フコトガ要リマス、又三百八十條ノ者ガ取下ノ
場合ニモ、被告人ノ同意ヲ經ナケレバナラヌト云フヤカマ
シイ規定モ附イテ居リマス、被告人、檢察等ガ、前ノ判決ガ
正當デアル、之ニ對シテハ全ク不服ガナイ、早ク判決ノ效果
ヲ實現シテ貰フタガ非常ニ都合ダト云フ場合ニハ、拋棄
ト云フコトハ實際的ニ良イ事ト考ヘテ居リマス

○野副委員 私ハモウ一箇條質問ヲ致シマシテ、私ノ質問
ヲ打切リ積リデアリマス、ソレハ刑事訴訟法ニ直接ナル關
係ノアル問題デアリマセヌガ、此運用ノ上ニ於テ、最も重大
ナル關係ノアル事デアリマス、出來得ルナラバ司法大臣ノ
御出席ヲ求メテ御質問シタカッタデアリマス、政府委員ヲ
輕シトスル譯デハアリマセヌガ、立場ノ關係上、司法大臣ヨ
リ御答ヲ得ル方ガ適當デアルト思ヒマシタガ、御病氣デア
ルト云フコトデアリマスカラ、已ムヲ得ズ茲ニ質問ヲ致シ
マシテ、政府委員ヨリ大臣ニモ適當ニ御取次ヲ願ヒタイノ
デアリマス、ソレハ質問ノ要領ハ、政府ニ於テハ、今日ノ判
事登用裁裁判所ノ構成ト云フ事ニ付テ、根本的ノ改革ヲ爲
ス見込ヲ持テ居ラナイノデアアルカ、ドウデアアルカト云フ事
デアリマス、ソレハドウ云フ事デアアルカト申セバ、如何ニ完
全ナル法律ヲ澤山作りマシテモ、法ガ益々煩雜ニナレバナ
ラ程仕事ガムツカシイ、其ムツカシイ法律ヲ取扱フ行ッテ
満足ナル結果ヲ得ルト云フコトハ、非常ニムツカシイ仕事
ナデアリマス、何人ト雖モ今日ノ司法事務ノ狀態ニ満足
ヲセラル、人ハナイト思フノデアアル、勿論今日ノ裁判所ニ
於テモ、優レタル人ガ澤山居ラレト云フコトハ、自分ニ於
テモ認メルノデアリマス、併ナガラ裁判所ヲ組織スルコト
ニ付テ、自分ノ見ル所ヲ以テスレバ法律ノ運用ニ付テ一
番ノ根本ノ問題ト云フモノハ、如何ニシテ判事ヲ採ルカ、此
問題デアリマス、此問題ガ解決ガ出來ナケレバ、ドンナ法律
ヲ作ツタデ、何ノ役ニモ立チハンナイ、即チ判事ト云フモノ
ハ、學識、經驗、人格、社會信仰ノ標的トナル人物ヲ得ナケレ
バナラヌノデアアル、外國ニ於テモ判事ト云フ名前ハ、子供ガ
聽イテモ威儀ヲ正スヤウニシテ居ル國ガアル、又其待遇ノ

如キモ、大臣以上ニ待遇シテ居ルノデアリマス、大臣ナド、
云フモノハ、時ノ都合ニ依リマシテ、非常ナル悲境ニ陥ルコ
トモゴザイマスケレドモ、此正義公道ト云フモノヲ維持ス
ルト云フモノハ、判事ノ責デアアル、此判事ト云フモノヲ粗略ニ
取扱ヒ、判事ノ地位ト云フモノヲ十分ニ向上セシメルト云
フコトガ出來ナイ位ナラバ、司法省ハ廢メタガ宜シイ、全ク
司法省ノ大責任ナノデアリマス、今日日本ノ裁判ガ、日本國
内、或ハ外國ニ對シテ十分ノ信用ヲ得テ居ルカ、残念ナガラ
得テ居ルト云フコトハ、私ハ出來ナイ、ソレハ只今申シマシ
タ通りニ、登用ノ制度ガ惡イ、是ハ併ナガラ必シモ一概ニ今
日マデノ經過ヲ責メル譯ニハ往キマセヌ、我國ガ司法制度
ニ着眼シタコトハ、日ガ淺イノデアリマスカラ、一躍シテ
完全ノ城ニ達スルト云フコトハ、勿論出來難イ事デハゴザイ
マスケレドモ、併ナガラ司法省ニ於テモ、十分ナル努力ヲ爲
ス所ノ誠意ガ無イノデアアルマイカ、何デモ現狀維持デヤリ
サヘスレバ、其日暮シラスレバソレデ宜シイ、大奮發ラシテ、
眞ニ司法權ノ威嚴ト云フモノヲ立ツベク、一代ノ勇ヲ鼓スル
言ウテ居ル、公開ノ席ニ於テモ、度々其論ヲ發表シタコトガ
ゴザイマスガ、此判事ト云フモノヲ採ルノニハ、只今申シタ
通りニ、學識、人格、經驗、總テノ點ニ於テ非難ノ無イモノヲ
ラナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、其待遇ト云フモノ
ハ最も長クナラナクテハナラヌ、待遇ト云フコトノ第一ノ要
件ハ、勿論相當ナル報酬ヲ與ヘルト云フコトデアアル、經驗ノ
アル人物ヲ得ルト云フコトニ付テハ、經驗ヲ積ンダ人ヲ採ル
云フコトニアアル、即チ是ハ外國ニ制度ガアルコトデアリ
マシテ、私ヨリ申上ゲル程ノ必要ハ無イ、凡テ法律家ノ試験
ト云フモノヲ統一ヲ致シマシテ、辯護士ノ試験ト一ツニス
ル、其辯護士ノ試験ラシテモ、辯護士ノ實務ニ從事スルニ付
テハ、或ハ三年若クハ五年ト云フ實習ノ期間ヲ置カナケレ
バナリマスマイ、ソレカラシテ少クモ十年若クハ二十年
ノ歲月ヲ通ジテ、民間ニ於テ澤山ノ事務ニ當リ、社會全體
ノ事情ニ通曉ラシテ、抑シモ押サレモシナイ立派ナル辯護
士ヲ判事ニ登用スルト云フコトデゴザイマシタナラバ、立
派ナ判事ヲ得ラレナイト云フコトハナイ筈デアアル、現ニ得
テ居ル國ガアルノデス、今日ノ實際ノ狀勢カラ見マスルト
云フト、裁判所ノ見習ノ中、少クモ氣力アリ、腕ノアル者
ハ、役人ニナツテモ馬鹿ラシイカラト云ツテ、罷メテ辯護士ニ
ナル、サウ云フヤウナ狀態デ、裁判所ノ神聖ガ保タレト云
フコトハ、望ンデモ得ルコトデハナイ、斯ノ如キ事ガ事實
アリトシマスルナラバ、ドウシテモ司法當局ニ在ル者ハ、百
難ヲ排シテモ斯ウ云フ情勢ヲ矯メナケレバナラヌ、ソレニ
ハ判事ノ登用ト云フモノヲ、適當ナ方法ヲ設ケテ、法律家ノ

優秀ガ喜ンデ判事トナル途ヲ開クヨリ外ハナイノデアアル、
ソレヲシナカッタナラバ、何ヲ言フテモ實行ガ出來ハンナイ、
新聞ノ傳フル所ニ依リマスレバ、先頃或ル辯護士ガ、法廷デ
アリマシタカ、何處デアリマシタカ知りマセスケレドモ、小
僧判事ト云フコトヲ私語シタト云フコトデ、懲戒裁判ガ
起ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、小僧判事ト云フ言
葉ハ、甚ダ穩當デナイ言葉デアアルカモ知レナイ、併ナガラ今
日ノ實際カラ申シマスナラバ、三十年モ五十年モ働イデ、サ
ウシテ立派ナ辯護士トシテ位置ヲ保ッテ居ル人ガ、アル一方
ニ於テハ、其家ニ書生ヲシテ居、タ者ガ學校ヲ出タトカ、或
ハ試験ニ及第シタト云フコトヲ三十歳カソコラデ上
ノ方ニ坐ッテ居テ、分ッタ風ナ顔ラシタナラバ、誰デモ好イ心
地ハンナイデアリマス、全體判事ナドト云フ者ハ、三十ヤ
四十位デ、世ノ中ノ複雑ナ事件ヲ捌イテ行ッテ、誤リ無キヲ
得ルト云フコトガ出來ルモノデアリナイ、判事ハ判決ヲ書
ク書記デアリマセヌ、其人格威嚴ト云フモノハ、決シテ作リ
事デ出來ルモノデアリナイ、裁判所ニ入レバ、實ニ神々シキ感
ジヲ與ヘルト云フニハ、相當ナ年配ヲシ、相當ニ經驗ヲ持ッ
テ行クヨリ外ハナイノデアリマス、若シサウ云フ制度ヲ作リ
マシテ、判事ヲ非常ニ優遇シテ、優秀ガ皆判事ヲ望ンデ行ク
ト云フコトニナリマシタナラバ、在野法曹ガ在野法曹ニ對
シテ無禮ノ言ヲ用ルルトカ、輕蔑スルト云フヤウナコトハ、
爲セト云フテモスル等ハナイノデアリマス、即チ制度運用ト
云フモノガ其途ヲ得ナイ、司法省ト雖モ、十分ナル經費ヲ要
求スル力ヲ持ッテ居ナイ、又司法制度ト云フモノガ、ドウ位
尊イモノデアアルト云フコトヲ、社會ニ諒解セシムルコトガ
出來ナイノデアリマス、在野法曹ト在野法曹トガ相闘イデ、
惡口ヲ言テ居ルト云フヤウナコトハ、實ニ外聞ノ惡イ話デ
アリマス、之ヲ矯正スルニハ、ドウスレバ宜イカト申シマス
レバ、事柄ハ簡單デアアル、即チ制度ヲ改善シテ、最も有力ナ
ル人ヲ判事ニ入レル外ハナイノデアリマス、サウ致シマシタ
ナラバ、今日ノ判事ハ半数デモ宜シイ、地方裁判所ノ三人ノ
判事ヲ一人ニシテモ宜シイ、控訴院ノ判事ノ數ヲ三分ノ一
ニシテモ宜シイカモ知レヌ、或ハ控訴上告ナドト云フ三
級審ニスルコトモ、必要ハ無イカモ知レナイ、即チ一審ト上
告裁判所ト二ツデモ宜イカモ知レナイ、細カノ法律ヲ澤山
々々拵ヘテ出シテモ、何ニモナリハンナイノデス、根本ニ於
テ司法ノ威信ヲ保チ、本當ニ日本ガ法治國デアルト云フ實
ヲ擧ゲルニハ、モウ少シ努力ノシヤウガアリサウナモノト
私ハ思フノデアアルト今日ノヤウニ裁判所ガ輕視サレルヤウ
デハ、國家ノ爲ニ由ラシキ大事デアルト私ハ思フノデアリ
マス、ソレデアリマスカラ、私ハ法律家ノ試験ヲ統一シテ、
單一ナ辯護士試験トシテ、其辯護士ノ實務ノ事ニ付テモ、相

當ナ考慮ヲ費シ、其辯護士ノ優秀ナ者ヲ以テ判事トナシテ、其判事ヲ非常ニ優遇シテ、最モ優秀ナ判事ヲ得ル途ヲ開クヨリ外ナイト思フ、此事ハ司法當局ト雖モ、勿論御異議ガアル譯ハナイ考ヘテ居ラレルコトデアラウト思フ、ノデアリマスガ、幾ラ經テモサウ云フ句ヒノスルコトヲ見出スコトガ出来ナイノデアアル、デアリマスカラ、司法省ニ於テハ、裁判所ノ改革ト云フコトニ付テ、何カ根本的ニ考慮ヲ費シテ居ラレルノデアアルカ、或ハ今日ノ司法ノ現狀ニ満足シテ居ラレルノデアアルカ否カト云フコトニ付テ、御尋ラシテ置キタイノデアリマス

○林政府委員 只今ノ御尋ハ、司法制度ニ關スル根本ノ重大問題デアリマシテ、司法大臣ガ出席セラレテ居リマシタナラバ、定メシ満足ヲ得ラレルダケノ御答サレラダラウト思ヒマスガ、生憎御病氣ノ爲ニ出席サレテ居リマセヌカラ、私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テ、御答ラシテ置キタイト思ヒマス、裁判官ノ職責方重大デアッテ、其地位ヲ尊重シナケレバナラス、又其職ニ從フ者ヲ採ルニ付テハ、人格、學識、經驗ノ各方面カラ、非常ニ勝レテ居ル人ヲ採ッテ、サウシテ裁判ノ信用ヲ彌ガ上ニモ増サセルヤウニシナケレバナラスト云フ御論旨ニ付テハ、御異議ノ申シ様モ無イ、全然同感デアリマス、司法當局ハ常ニ其考ヲ以テ色々畫策シテ居リマス、今日モ現ニ種々畫策シテ居ル事柄モアルノデアリマスガ、之ヲ具體的ニ申上ゲルコトハ私トシテハ今日出来マセヌ次第デアリマス、併ナガラ最善ノ努力ヲ盡シテ、サウシテ司法制度ノ改善ヲ期シテ居ルト云フダケハ言明シテ憚リマセヌ、併ナガラ色々事情ガアリマシテ、容易ニ此理想ヲ實現スルト云フコトハ困難デアリマス、俄ニ思フ通りニ外部ニ現ハレテ、御満足ヲ得ルヤウナ制度ヲ作ルト云フコトハ困難デアラウト思ヒマスガ、併ナガラ常ニ十分ノ努力ヲ致シマシテ、サウシテ成ルタケ早ク理想ノ域ニ達センコトヲ期シテ居ル、是ダケハ私ガ責任ヲ以テ御答ラシテ置イテ差支ナイト存ジマス

○鶴澤委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス、午後一時カラ始メマス

午後零時四十一分休憩

午後二時十九分開議

○鶴澤委員長 午前ニ引續イテ刑事訴訟法案委員會ヲ開キマス、通告者ノ内缺席ガアリマスカラ、後廻シニ致シマシテ、宮古三郎君

○宮古委員 差支ガアリマシテ、缺席シタコトモ度々デスカラ、或ハ既ニ質問サレテ居ルカモ分リマセヌ、又モウ既ニ答辯サレテ仕舞ッテ、改メテ答辯サレル必要モナイダラウト

思ヒマスガ、午前中ニ野副君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ御答辯モアリマシタガ、略式手續ノ事第一ニ私ハ伺ヒタイト思ヒマス、先刻政府委員ノ答辯ニ依ルト、略式手續ハ現在存シテ居ル、其儘刑事訴訟法ニ移シタルデアルト云フコトデアリマシタ、現在行ハレテ居ル略式手續ニ付テハ、大分議論ガアリマスノデアッテ、辯護士協會ノ意見デハ、之ヲ廢メタイト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、私モ常ニ此弊害ヲ感じテ居ル一人デアリマス、ソレハ幾多ノ場合ニ澤山アリマスケレドモ、選舉違反ノ場合ノ如キハ、殊ニ著シイト思フノデアリマス、ソレハ司法省ノ方ニ御在デニナッテハ、十分御分リナイノハ無理モナイト思ヒマスガ、司法警察官ガ選舉人ニ對シマシテ、或ハ買収行為ヲシテ居リハセンカ、ヤッテ居リハセンカドウカト云フコトヲ尋ネル、又檢察官ヲ以テ選舉人ニ對シテ訊問スル、其時ニ於テ、選舉違反ノ行為ガアルナラバ、直チニ此處デ自白スルガ宜シイ、左スレバ略式手續ヲ以テ直チニ之ヲ處分スル、若シ自白ヲセヌト云フコトニナルト、之ヲ豫審ニ付スルトカ、若クハ面倒ナ手續ヲ以テ裁判スルコトニスル、其場合ニ於テハ拘留スルト云フヤウナコトガ出テ來ル、ソレデアアルカラシテ、速ニ自白ヲシテ、略式手續ニ依ッテ裁判ヲ受ケルガ宜シイト云フヤウナコトヲ勸告スル、其場合ニ於テ、選舉人ガ刑ト云フコトヲ大ニ怖レテ、又實際ニ事實デアリナイデアアルナラバ、如何ナル裁判ヲ受ケテモ、如何ナル拘留ヲ受ケテモ、ソレニ服セヌト云フ考ヲ以テスレバ、敢テ間違ハ起ラナイモノデアリマスケレドモ、不幸ニシテ今日ノ人民——選舉人ノ其智慮ガ淺薄デアリ、能力ガ頗ル乏シイ爲ニ、事實デハナクとも、拘留スルト云フヤウナコトヲサレテハ大變デアアル、長イ裁判デ面倒ナ手續ニ及バレルト云フコトデハ大變デアアル、其中デ最モ拘留ヲ怖レマス、サウ云フ事ガアッテハ大變ダト云フノデ、檢察官言フガ儘ニ、選舉違反ノ行為ガアッテヤウナ事ノ申立ヲ致ス、サウスルト、ソレデ略式裁判ガ出來テ、刑ノ言渡デアル、ソレハソレデ確定シテモウ、サウスルト其人ハ自ラ求メテ、拘留サレルト云フ事ヲ怖レラガ爲ニ、事實ニアラザル事ヲ申立テ、簡易ニ事ヲ済マスト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルノデアアルカラ、自業自得デアアルカラ、之ヲ深く咎ムルニハ當ラヌカモ知ラヌガ——深ク憐ムニ足ラヌカモ知ラヌケレドモ、併シ其事ガ方々ニ影響スルノガ非常ニ困ルコトニナルノデアアルト云フノハ、或ハ候補者或ハ運動者ハ、何レ選舉違反ト云フコトデアレバ、關係スルモノガアル、買収行為デアアルト云ヘバ、買収ヲサレタ人ガアル以上、買収ヲシタ人モナケレバナラスコトニナル、サウスルト選舉人ハ何某ヨリシテ買収サレタト云フコトデ刑ヲ受ケルノデアアル、其結果ガ、買収ヲシタト云フ人ニ及ンデ來ル、ソコデ以テ略式

手續ノ記錄ガ證據トナッテ、或ハ候補者或ハ運動者、是等ノ人ガ、事實無キ裁判ヲ受ケテ、冤罪ニナルト云フヤウナコトガ出テ來ルノデアッテ、サウ云フコトヲ私共度々耳ニスルノデアリマス、是ガドウモ如何ニモ遺憾ナ事デアルト思フ、ソレデ略式手續ト云フコトガ無ケレバ、冤罪ニ甘シズルト云フヤウナコトハ、先ヅ容易ニ致サヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ略式手續ヲ甘受シテ、罰金五圓ナリ十圓ナリヲ納ムレバ、拘留モサレナイト云フヤウナ譯デアアルカラ——又冤罪デアッテモ、拘留サレテ幾日モ監獄ノ中ニ入レラレルノハ、馬鹿々々シイコトデアアルカラ、一時ノ罰金ニ甘シジテ、其刑ヲ受ケヤウト云フヤウナコトガ出テ來ル譯デアアル、是ハ即チ一例デアリマスルガ、略式手續ハ洵ニ悲ムベキ弊害デアルト思フ、斯ウ云フコトカラ、獨リ選舉違反ノ場合バカリジヤアリマセヌ、澤山ノ場合ニ於テ起テ、テ居ルヤウニ思フノデアリマス、ドウモ弊害ハ何トカシテ之ヲ救済スル途ガナケレバナラスノデアリマスケレドモ、今日ソレガ澤山アリ、事柄ヲ簡易ニ取扱フト云フ上カラ申シマシタナラバ、略式手續ハ誠ニ宜イ方法デアリマセウケレドモ、併ナガラ是ガ爲ニ冤罪者ヲ拵ヘルト云フヤウナ事ガアッテハ、其手續ヲ簡易ニ取扱フト云フ利益ドコロノ事デハナカラウト思フ、サウ云フ事ガアリマスカラ、ソレガ爲ニ略式手續ト云フ手續ハ廢シタイト云フコトヲ多クノ人ガ考ヘテ居ルノデアアリマスガ、政府ノ御意見トシテ、ドウシテモ之ヲ存シテ置クト云フノデアリマスカ、或ハ今迄斯様ナ手續ガアッテカラシテ、此處ニ之ヲ移シタルデアアルガ、是ガ無クッテモ敢テ固執スルニ足ラヌト云フ御意見デアリマセウカ、又今私ノ申シタヤウナ弊害ノアルト云フ事ハ、御承知デアアルカドウカ、更ニ左様ナ弊害ガ無いト認メラル、ノデアアルカ、此點ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○林政府委員 略式手續ヲ此法律案ニ採用シマシタ大體ノ理由ニ付テハ、前ニ申シタヤウナ次第デアリマスカラ、重ネテ述べル事ハ致シマセヌガ、要スルニ政府ハ、略式手續ハ、從來ノ經驗ニ徴シマシテ、大體ニ於テ極メテ適當ナ制度デアアル、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、今宮古君カラノ御話ノヤウナ、略式命令ニ服シナケレバ拘留ヲスル、非常ナ面倒ナ手續ニナルト云フヤウナコトヲ檢察官言フナドト云フコトハ、實ハ意外ナ事デアリマシテ、一體略式命令ハ、罰金等財產刑ニ當ルヤウナ事案ノミニ付テ適用スル次第デアリマスカラ、略式命令ニ依ッテ取扱フ事件ニ付テ、之ニ服シナケレバ拘留スルト云フヤウナ事ハ、甚シキ職權ノ濫用デアアル、若シサウ云フ事ガ行ハル、トスレバ、法律制度ハドンドン立派デモ、是ハ仕方ガナイ、私ハサウ云フ事ハ今日無イト信ジテ居リマスガ、ソレ程極端ナル事デナイニシマシテモ、多少

ニテモ之ニ類スル事ガアレバ、是ハ十分矯正スルコトニ努
メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、併ナガラ前ニモ申シ
マシタ通り、總テ制度ハ運用ノ方面カラ考ヘテ見テ、十分ニ
注意ヲシマセヌト、多少ノ弊モ伴フテ來ルコト云フコトハ免レ
ヌ、一部ノ弊ノミヲ見テ、制度其モノヲ覆ヘスト云フコト
ハ、是ハ考ヘ者デアアル、サウ云フ事ニナルト、所謂角ヲ矯メ
ントシテ牛ヲ殺スト云フヤウナ事ニナリハセヌカ、大體ニ
於テ略式制度ハ、非常ノ結構ナ制度デアアル、實際ニ於テモ成
績ハ良好デアアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、若シ運用ノ
上ニ於テ弊ガアリマシタラ、十分御注意ヲ蒙リマシテ、之ヲ
矯正スルコトニ全力ヲ盡ス考デアリマス

○宮古委員 略式手續ノ事ニ付テ、檢事ヤ司法警察官ガ不
當ナ事ヲアル譯ハナイト云フコトニ、司法省ニ於テ御信ジ
ニナッテ居ルノニ、決シテ無理ハナイノデアリマスガ、併シ
不幸ニシテ是ガ履行ハレテ居ルノヲ私共ハ耳ニスル、是
ハ辯護士ト云フ立場ニ居リマス、被告トナツタ所ノ者ガ之
ヲ訴ヘル爲ニ度々之ヲ知ルコトガ出來ルノデアリマス、司法省
ニ御居デニナッテハ、左様ナ事ヲ訴ヘテ來ル者モ餘リ無イ
ノデアアルカラ、御分リニナラスノモ無理ハナイ、併ナガラ事
實ニ於テハ澤山行ハレテ居ル、ソレガ爲ニ先刻申シマシタ
ヤウニ、迷惑ヲスル人ガナケレバ、敢テ差支ハナイデアアル
ガ、迷惑ヲスル人ガ澤山アルノガ事實デアリマス、爲ニ斯
ウ云フ制度ヲ寧ロ廢メル方ガ宜クハナカラウカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマシテ、私ノ承リタイノハ、之ヲ若シ廢スル
コト云フコトニ致シマシタラバ、大變ナ困ル事ガアルノデア
リマセウカ、之ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙一言附加
ヘテ置キマスノハ、ドウモ司法省ニ御居デニナッテ分ラナイ
事ガ、幾ラモ此刑事處分ノ上ニ於テハアルコトヲ私共ハ遺
憾トシテ居ルノデアアル、法律ニ書イタ通りニ總テガヤッテ
レルモノナラバ、洵ニ結構デアアルト思ヒマスガ、事實ニ於テ
ハ中々法律通りニハヤッテ居ラスノデアアル、檢事ガ或ハ被告
人ニ、或ハ證人ニ、屢々威壓ヲ加ヘテ、心ニモナキ陳述ヲナ
サシムルコト云フ事ハ、決シテ勘イ事ハナイ、非常ニ數ガ多イ、
殊ニ檢事ガ家宅搜索ヲ行フト云フヤウナ事ハ、恐ラク司法
省ニ居ッテハ御承知ガナクハナイカト思ヒマスガ、事實ニ於
テハ檢事ガ家宅搜索ヲヤッテ居ル、豫審判事ガヤルノガ當リ
前デアラウノニ、檢事自ラガヤッテ居ル、實況見分ト稱シテ
居ル、實況見分ト云フ名義ノ下ニ、事實ニ於テハ家宅搜索ヲ
ヤッテ居ル、檢事ノ職權ト豫審判事ノ職權ト一ツモ違ハナイ
ヤウナ事ヲヤッテ居ル、此檢事、若クハ司法警察官デモ同様
デアリマスガ、權力ヲ以テ人民ニ臨ムト云フト、人民ハ非常
ニ畏怖ノ念ヲ持チマシテ、其爲ニ心ニモナイ事實ノ供述ヲ
スルト云フヤウナ事ガ出テ來ル、デ私ハ或檢事ガ斯様ナ事

ヲ言ツタノヲ聞イテ居ル、自分ガ斯ウ云フ事デアアルト信ジテ
其通りニ被告人ニ言ハセヤウト思フタナラバ必ズ言ハシメ
ル、斯ウ云フ事ヲ言ウテ居ル檢事ガアリマス、ソレハ非常ニ
人民ガ怖レテ居ルノト、拘留ト云フコトヲ最モ怖レテ居ル
場合ニ、檢事ガ斯様ナ事デアラウト思フガ、之ヲ言ハナケレ
バ拘留ヲスルゾト云フヤウナ事ヲ申ス、或ハ既ニ拘留ニナ
テ居ル人デアアルナラバ、之ヲ言ハバ拘留ヲ解イテヤル、保釋
ヲ許シテヤルト云フヤウナ事ヲ申シマス、事實デアリマス
ヲ幾ラデモ言フ、自分ノ身體ニ影響スル事デアッテスラモ、
事實デアリマス申ス者ガ多イノデアリマスガ、殊ニ自分ノ
身體ニ關係ガナイ、他人ノ身上ニ關係ノ場合デ、他人ニ不利
益ナル事柄デアアル場合ノ如キニ至ッテハ、幾ラデモ言フノデ
ス、ソレハ實際ニ行テ見タナラバ、直グ分ル譯デアリマス
ガ、拘留ニナッテ居ル被告人ニ向ッテ、ドウダ、是ハ保釋ニシ
テヤルガ、斯ウ云フ事ヲ言フタラドウカト申シマス、事實
デナクテモ言フ、ソレヲ頑強ニ是ハ事實デアリカラシテ、何
ト致サレテモ言フコトハ出來ヌト言フテ、頑強テ居ル被告
人ト云フ者ハ、割合ニ勘イ、斯様ナ事ガ實際ニ於テ多イノデ
ス、斯ウ云フ事ガアルノデアリマスカラ、唯法律ノ明文ノ上
ニサウ云フ事ハスルコトハナラヌト云フコトニナッテ居ル
ノデアアルカラ、事實上無イ答デアアルト云フ風ニ御考ニナル
ト、大變ニ間違フ、ソレデアリマスカラシテ、出來ルダケ弊
害ノアラウト思フ事ハ、除ク方ガ宜イト思フノデアリマス
略式手續ニ確ニ此弊害ガアルト認メルノデ、ソレガ爲ニ之
ヲ除ク方ガ宜クナイカト思フノデアリマス、ドウシテモ之
ヲ存シナケレバイカヌカ、之ヲ存シナクとも、略式命令ト云
フ手續ノナカッタ時ノヤウニ取扱フタナラバ、ソレデモイカ
ヌモノデアアルカドウカラ一應伺ヒマス

○林政府委員 政府ニ於テハ略式手續ヲ存置スル方ガ適當
デアアルト云フ確信ヲ有ッテ居リマスガ、ソレデハ是ガ無ケレ
バ困ルカドウカト云フ御尋デアリマシタガ、御答シテハ、
之ヲ廢シテハ困ルト言ハナケレバナラヌト思ヒマス、ソレ
ハ裁判所ノ方面カラ見マシテモ、最近ノ統計カラ見マス、
略式命令デ處理シテ居ル事件ガ、一年ニ五萬乃至六萬アリ
マス、近來一般ニ事件ガ隨分繁雜ニナリマシテ、今日ノ裁判
所ノ職員ハ、手一杯——ト云フヨリハ、ソレ以上ノ勤務ヲシ
テ居ルト云フコトハ明白ナル事實デアリマス、隨テ澤山ノ
事件ヲ總テ複雜ナル手續デアアルト云フ事ニナリマス、多
數ノ事件ニ十分ナ力ヲ注グト云フコトハ、困難デアアルト思
ヒマカ、言ハバ簡單ナ事件ハ極メテ簡易ナ手續デ處理シテ、
複雜ナル事件ハ鄭重ニ審理スルト云フコトデ、實際ニ適セ
シムル方ガ、却テ其結果ガ宜クナイカト思ヒマス、ソレカラ

當時者ノ方面カラ見テモ、或ル場合ニ於テハ、略式手續ノ爲
ニ或ハ工合ガ惡イヤウナ事ガアツタカモ知リマセヌガ、併ナ
ガラ略式手續ノ爲ニ非常ニ好都合デアツタト言ウテ、略式手
續ヲ謳歌シテ居ル者モアルノデアリマス、若シ是ガ無イト、
一々普通ノ訴訟手續ニ依リ公判ニ呼ビ出サレ、繁雜ナ調ベヲ
受ケテ判決ヲ受ケル、而モ其事ガ公ニナルト云フ、ヤウニ當
事者ノ方面ニハ迷惑スル事ガ多大デアアル、少シモ疑ナキヤ
ウナ簡單ナ事實ニ對シテハ、簡單ナ手續デ済マスト云フ方
ガ都合ガ宜イト思ヒマス、斯様ナ方面カラ見ルト、略式手續
ヲ全然廢スルコト云フ事ハ、當事者モ困ルコト、思ヒマス、政
府トシテモ是非略式手續ヲ存置致シタイ考デアリマス、ソ
レカラ刑事上ノ處分等ニ付テ、司法省デ知ラスヤウナ所ニ、
隨分取扱ノ不都合ナ事ガアル、斯様ナ御話デアリマシタガ、
司法省ニ於テハ十分注意致シマシテ、監督方法ヲ盡シテ
居リマスガ、併ナガラ多數ノ事デアリマスカラ、或ハ行届カ
ヌ事ガアルカモ知レヌト存ジマス、若シ不都合ナ取扱ガア
ルトスレバ、甚ダ遺憾デアリマスカラ、十分將來矯正スル方
法ハ取リタイト思ヒマス、若シ其様ナ事ヲ御見聞ニナリマ
シタナラバ具體的ニ事實ヲ御示シ下サルコトガ願ヘレバ幸
ト存ジマス

○宮古委員 序ニ伺ッテ置キマスガ、先刻私ノ御尋シタ中ニ
申上ガマシタガ、檢事ガ實際或ル場合ニ、豫審判事ト同ジヤ
ヤウニ、實況見聞書ト云フヤウナモノヲ作り、サウシテ實況
見聞ト云フヤウナ事ヲヤッテ居ル、矢張豫審判事ト同ジヤ
ヤウニ、職權ヲ以テ人ノ家ニ入り込ミ、勝手ニ物ヲ引キ出シ
テ搜查スルコト云フヤウナ事ヲ致シテ居ルノヲ見ルノデス
ガ、斯様ナ事ハ司法省デハ適法ト御覽ニナッテ居ルノデアリ
マスガ、或ハ適法デアリト御覽ニナッテ居ルノデアリマスガ
○林政府委員 適法カドウカト云フ單純ナ法律論ト致シマ
スレバ、承諾ガアレバ、之ヲ行フテモ違法ダトハ言ヘスト存
ジマス、併ナガラ家宅搜索ノ如キ事ハ假令承諾ガアツテモ、
檢事或ハ司法警察官ガヤルト云フコトハ、世間カラ色々疑
ヲ受ケルコトニナリマスカラ、其様ナ事ハ斷ジテヤッテナラ
ヌト云フコトヲ、檢事總長カラ檢事正或ハ警察部長會議等
ノ際、度々訓示モアツタヤウナ次第デアリマス、其様ナ事ハ或
ル時代ニ於テハ隨分アツタカモ知レマセヌガ、最近ニ於テハ
斷ジテ無イ事ト確信致シマス

○宮古委員 尙ホ只今ノ事ニ關シテ伺ヒマス、承諾ノ上ナ
レバ差支ナイ、併ナガラ承諾ガアツテモ無クテモ、左様ナ事
ヲスルノハ宜クナイト云フノデ、左様ナ事ヲセヌヤウニト
云フ訓示ヲ出サレテ居ル、果シテサウデアアルト、誠ニ結構ト
存ジマスガ、實際記録ノ中ニ實況見聞書ト云フモノガ附テ

居リマシテ、サウシテ家宅搜索ヲシタヤウナコトガ書イテアリマス、承諾ガアレバ宜イト云フ御意見デアアルヤウデスガ其承諾ト云フモノハ、先刻モ申シタ如ク、人民ノ知識ガ淺イ爲ニ、檢察官御出デニナツタトキ、家内ヲ調べカヲト言ハレテ、ソレハ承諾致シマセスト云フヤウナコトヲ言フ人ハ、不幸ニシテ甚ダ少イ、餘程確カメハ格別、併ナガラ法律ノ事ハ多クノ人ハ知リマセヌカラ、又其所ニ檢察、威力ガアルノデ、檢察ニ來ラレタ際ニ、承諾シナイト云フト如何ナル憂目ニ逢フカ知レスト云フ畏怖ノ念カラ、不承諾ヲ言フ者ハ實際ハアリマセヌ、ソレデアリマスカラ、只今申スヤウニ實況見聞ト云フヤウナ事ガ多ク起リ、記録ノ上ニモ度々見ルノデアリマス、何時只今御話ノヤウナ訓示ガ出カ知リマセヌガ、左様ナ訓示ノ出タノハ洵ニ結構デアリマスカ、其點ハ特ニ御注意ヲ願ヒ、斷ジテ左様ナ事ノ無イヤウニ、記録ノ一部トシテ添付サレルヤウナ事ノ無イヤウニ致シタイト思ヒマス、更ニモウ一點伺ヒマスガ此度ノ刑事訴訟案ニ於テハ、從來ヨリ上告裁判所ノ權限ヲ擴張メシテ、單ニ法律ニ違背シタト云フ場合バカリデナク、上告ヲ許スト云フコトニナツテ居リマスカ、人民ノ權利ヲ擴張シタ點ニ於テ、洵ニ喜バシク存ズルノデアリマスカ、併ナガラ此案ヲ見マスト、上告デ破毀ニナリマシタ場合ニ、總テ上告裁判所デ審理スルト云フコトデアッテ、只今迄ノヤウニ移送スルト云フコトガ無イヤウニ見エマスルガ、是ハ餘程研究ヲ要スル問題デハナカラウカト思フ、上告ノ裁判所ト云ヘバ大審院デアリマスカ、大審院ニ於キマシテ、總テ破毀シタ件ニ付テハ事實調査ヲ致スト云フコトデアリマスカ、餘程大審院ノ事務ガ煩雜エテ、大審院ノ仕事ガ容易デナクナルコトニ相成ラウト思ヒマス、事務ガ多イト云フコトバカリナラバ宜シウゴザイマスガ大審院デ判決スル際ニ、之ヲ破毀スルト云フト、自分ノ裁判所ニ於テ事實調査ベヲ爲サナケレバナラスト云フ考ヲ講ゼナケレバナラストデアリマスカラシテ、隨ッテ破毀スルト云フコトニ付テハ、老練心カモ知ラセヌケレドモ、餘程躊躇スルコトガ出來テ來ハセヌカ、今迄ノヤウニ他ノ裁判所ヘ移送スルトデアリマスカ、極メテ事柄ガ簡單デアリマシテ、破毀スルトコトヲ躊躇スルヤウナコトモ少ナイデアラウト存ジマスカ、一々破毀シタト云フニハ、自分ノ裁判所デ裁判スルトニナルト、只今申シタヤウナ弊害ガ起ルヤウナ事ガアリハセヌカ、左様ナ憂目ノ無イヤウニ、此大審院ノ破毀シタ場合ニ、今迄ノ通りニ移送ノ原則トシテ、例外ノ場合大審院デ自判スル、或ハ刑ノ量定ガ重キニ失スル、或ハ執行猶豫ヲ與フベキモノガ與ヘナカッタ、或ハ單ニ法律上ノ問題ダケト云フヤウナ場合ニ、破毀自判スルトコトニシマシテ、其他ノ場合ハヤハリ今迄通りニ移送スルトコトニシタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス

○林政府委員 唯今御尋ノ如ク、大審院ノ權限ヲ大分此案ニ於テ擴張メテ居リマスカラシテ、大審院ノ事務ガ非常ニ増加スルコトハ、明白ナ事デアリマス、隨ッテ今日ノ人員ヲ以テスレバ、負擔ガ重キニ失スルト云フコトモ、明カデアリマスカ、政府ニ於キマシテハ、大審院ノ部ヲ増加シマシテ、適當ナ職員ヲ配置シテサウシテ事件ノ増加シタモノニ對シテ、十分ニ審理ガ出來ルヤウニ致ス考デ居リマス、ソコデ大審院自カラ事實ヲ審理スルノガドウデアラウカト云フ御説デアリマスカ、是ハ却テ其方ガ宜シカラウト思フ、本案ハ大審院ニ事實ノ當否ヲ判斷スル權利ヲ認メ、大審院ガ調査ヲシマシテ、サウシテ判決スルノデアリマスカ、大審院ガ其判決ヲスル前ニハ、其記録ヲ一通リ調べサウシテ事件ノ大體ニ通ズルコトニナリマス、ソレデアリマスカ、大審院ガ自ラ判決ヲスルト云フコトガ、非常ニ訴訟手續ノ進行ノ上カラ申シマシテモ、好都合デアラウト思フ、所ガソレヲ一々他ノ裁判所ヘ移送スルトコトニナリマスト、又其裁判所デ事件ノ記録ヲ初カラ見直シ、非常ニ時間ヲ費スト云フコトハ、是迄ノ實際ガ明カニ證明致シテ居リマス、事件ノ進行ノ遅レルコトハ、公私共ニ都合ナ結果ヲ生ズルノデアリマス、大審院ガ單ニ法律問題ヲ決スルト云フ根本ノ原則ヲ置ケバ別デアリマスカ、ケレドモ、尙モ事實ニ付テ審理スルトコトニシマシタ以上ハ、自ラ事件ニ付テ審判ヲシテ、他ノ裁判所ヘ移送シナイト云フコトハ、當然ノ事ト考ヘマス、ソレカラ又自カラ審判スルコトニナレバ、破毀スルコトヲ避ケハシナイカト云フ虞ガアル、斯ウユ御心配デアリマシタガ、ソレハ斷ジテアルマイト思ヒマス、尙モ大審院判事トモアラウ者ガ、サウ云フサモシイ心ニ於テ事ヲ處理スルトハ斷ジテ無イト自分ハ確信致シテ居リマス

○宮古委員 モウ一度伺ヒマス、大審院ガ破毀シタ事件ヲ一々事實調査スルコトニナラバ、餘程大審院ノ仕事ガ煩雜エヤウト思ヒマスガ、政府ノ御計畫デハ、幾ツ程ノ部ヲ設ケテ、ソレダケノ仕事ガ出來ルコト云フ御考デアリマスカ

○林政府委員 其點ハ今色々事件ノ數、其他ノ關係ヲ調査中デアリマシテ、キツカリシタ所ヲ申スコトガ出來マセヌガ、少クトモ、數部、部ヲ増シマシテ、全國ヨリ堪能練達ノ判事ヲ選拔シマシテ、サウシテ之ニ充テル考デ居リマス

○宮古委員 午前中ニ野副君ノ質問ノ中ニモアリ、多少政府委員ノ御答モアリタヤウデアリマスガ、重要ナ事デアリマスカラ更ニ御伺ヒシマス、今度ノ刑事訴訟法ノ中デ從來大ナル問題トナツテ居リマシタ檢察ノ聽取書ヲ、原則トシテ證據ニ採用セヌト云フコトニナリマシタノハ、一段ノ進

歩デアッテ、洵ニ喜バシク思ヒマスガ、併ナガラ區裁判所ノ事件ニ付テハ、適用セヌコトニナツタ、區裁判所ノ事件デハ、檢察ノ聽取書デモ、司法警察官ノ聽取書デモ、證據ニナルト云フ風ニ見エマスガ、是亦私ハ大ナル考ヘ物デアラウト思ヒマス、政府ノ見ル所デハ、區裁判所ノ事件ハ洵ニ簡易ナ微細ナルモノデアラカラ、手續ヲ頗ル簡易ニシテ差支ナイモノデアルト云フコトニ、御考ヘニナツテ居リヤウデアリマスカ、區裁判所ノ今日ノ權限ニ於キマシテモ、豫審ニ附セナイモノハ、隨分重大ナ事柄デモ、判決ガ出來ル、ソレデ下流社會バカリデナイ、上流、中流社會等ニ於キマシテ生ジル所ノ犯罪ニ付キマシテモ、區裁判所デ判決ヲ受ケル場合ガ洵ニ多イ、ソレデ強盜ノヤウナ重罪事件ニ付テ、審理ヲ慎重スルト云フコトハ、決シテ惡イ事デアリマセヌガ、併ナガラソレヨリ以上ノ立派ナル紳士ガ、犯罪者トシテ取扱ハレルト云フ場合ニ於キマシテハ、餘程慎重ナ審理ヲ致シマセスト云フト、重罪事件ノ強盜ノ何カト同ジヤウニ見ルコトノ出來ナイ場合ガ多イト思フ、ソレデアリマスカ、區裁判所ノ事件ガカヲト云ツテ、亂暴ニシテ宜シイ——亂暴ト云フハ語弊ガアリマスカ、ソレハ立派ナ證據デナク、證據ニシテ宜イト云フヤウナコトハ、大ナル間違デナカラウカト思フ、相當ノ紳士ガ、如何ニ輕イ刑デアッテモ、刑罰ニ附セラレルト云フコトハ非常ニ耻辱デアリマシテ、社會ニ立ツコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ出來ル、如何ニ區裁判所ノ事件デアッテモ、人ニ依ッテ非常ニ重キヲ爲サナケレバナラヌ場合ガ澤山アルノデアラカラ、區裁判所ノ事件デアラナラバ、先ヅ普通ノ裁判所デ證據ニ探ラナイ事デモ、證據ニシテ宜イト云フコトハ、大間違デナカラウカト思フ、政府委員ノ御説明ヲ承リマスト、區裁判所ニハ微々タル事件ガ澤山アッテ、一々證人ヲ喚ンダリ何カスルコトモ、却テ面倒デアルト云フヤウナ譯カラ、檢察ノ聽取書ノヤウナモノデモ、證據トシテ處罰スルト云フコトヲシテモ差支ナイノデアアルシ、又サウシナケレバ、中々事ガ運バヌト云フヤウニ承リマシタガ、私ハソレハ違ッテ居リハシナイカト思フ、成程微々タル犯罪デ裁判所ニ於テ必要ナ手續ヲサレルノハ、面倒デアルト云フ考ヲ持ッテ居ルモノガアリマセウ、殊ニ下層社會ニ於テハ、左様ナ者モ澤山アラウト思ヒマス、併ナガラ、左様ナ者ガアルト云フノデ、何人ニ對シテモ其手續ヲ行ハヌデ居リマシタナラバ、ドノ位迷惑スル者ガアルカモ知レヌト思フ、此事ハ餘程慎重ニ致サナケレバナラヌモノデアルト思ヒマスカラ、區裁判所デアッテモ、地方裁判所デアッテモ、其點ニハ區別ヲ置カヌ方ガ宜カラウト私ハ思ヒマスガ、其點ニ對シテ政府ノ意見ハ如何デアリマスカ

○林政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ、先程野副君ノ御質問

ニ對シテ答ヘタ通りデアリマスガ、要スルニ此法案ニ於キ
マシテ、聽取書ノ如キモノハ、原則トシテハ證據方法中ニ認
メナイト云フコトヲ明ニシテ居リマス、ソレ故ニ區裁判所
ノ事件デアルカラ、證人ナドハ訊問シナイ、シツカリシタ證
據ニ依ラナイデモ構ハズ、亂暴ニヤツデモ宜イト云フ意味ハ
無い、無論事件ニ依ッテハ丁寧ニ、地方裁判所以上ニ調ベテ
判決スルト云フコトハ當然デアルト思フ、法ノ精神ハソコ
ニ在リマスガ、併ナガラ前ニ申シマス通り、區裁判所ニ於テ
ハ、極メテ簡單明白ナル事件ガアリマス、ソレニ一々原則通
リノ適用ヲシマシテ、畫一的ノ手續ヲスルト云フコトハ、當
事者ニ取ッテモ不便ガ少クナイノデアリマスカラ、法律ノ上
ニ於テ、區裁判所ニ於テモ、地方裁判所ト同一デナケレバ
ラヌト云フコトニ定メルノハ、却テ實際ニ適セヌト思フ、矢
張法律ノ上ニ於テハ、必ズシモ證據ハ地方裁判所ノ通りデ
ナクテモ宜シイノデアルト云フコトヲ定メテ置キマシテ、
サウシテ實際ノ局ニ當ル者ガ、法律ノ精神ニ則ッテ行フト云
フコトニ致スノガ、相當デアラウト考ヘテ居リマス

○宮古委員 成程政府委員ノ仰シナル通りニ、裁判所ヲシ
テ、必ズ檢事ノ聽取書司法警察官ノ聽取書ヲ證據ニセヨト
云ッテ命令スル譯デアリナイノデアッテ、ソレハ證據ニシテモ
宜シ、シナクテモ宜シト、裁判所ニ任セテアルカラ、差支ナ
カラウト云フ御意見デアリマスガ、併シ是等ノモノガ、證據
トナルト云フコトニ法律ヲ定メテ置キマスルト、ドウモ
裁判所ニ於テハ、他ノ面倒ナル手續ヲヤラナイデ、簡易ナル
聽取書ニ依ッテ裁判ヲ下スト云フヤウナコトニナルノガ、
今日迄ノ通弊デアル、裁判所ガ中々如何ナル場合ニ於テモ、
能ク場合ヲ觀テ、此人ハ相當ノ紳士デアルカラ斯ウ云フコ
トニシナケレバナラス、此人ハ下層社界ノ名モ無い者デア
ルカラ、斯ウ云フ風ニ扱ッテモ宜シイト云フヤウナ中々事
實ハサウハナイカナイ、裁判官ト雖モサウ立派ナ人許リハア
リマセヌ、特ニ地方ニ行キマスルト、隨分裁判官トシテドウ
カト云フヤウナ人モ無いデモナイデアリマス、其點ハ
矢張法律ヲ以テ證據ニスルコトガ出來ナイヤウニシテ置カ
ナケレバナラスト私ハ思フ、只今申サレタ所ノ、被告人ハ面
倒ナ手續ハ困ルノデアルト云フコトデアリマスケレドモ、
无刻申シマシ通り、左様ナ者ガアリマシテモ、慎重ナル
手續ヲ以テ裁判ヲ希望スル者ノ權利ヲ害スルヤウナコトガ
アッテハイカスノデアリマスカラ、是ハ矢張同一ナル手續ニ
スル方ガ宜シイデアリカ、殊ニ此案ヲ見マスルト、區裁判
所事件ハ慎重デナク取扱テ居ルヤウニ思ハレルノデアアル、
例ヘバ三百六十三條ノ判決ノ場合ニ於テモ、區裁判所以上
ニ對シテハ、不十分ナガニモ三百六十二條ノ規定ガアリマ

スルガ、區裁判所ノ事件ニ付テハ唯單ニ「罪ト爲ルヘキ事實
證據及法令ノ適用ヲ示スヲ以テ足ル」ト云フヤウニ簡易ニ
書イテアルノデアリマスカラ、區裁判所ノ事件ハ、何デモナ
イ刑ノ如クニ行ハレルノデハナカラウカト思フノデアリマ
スガ、先刻申シマス通りニ、刑ヲ受ケルト云フ場合ニ於テ
ハ、人格ニ依ッテ非常ニ相違ヲ來スノデアル、ツマラナイ人
ノ處刑ノ場合ト、立派ナ人ノ處刑ノ場合トハ、非常ニ違フ
デアリマス、世ノ中ニ立派ナ名ヲ成シテ居ル者ハ、縱令微罪
ト雖モ、刑ヲ受ケルト云フコトハ非常ニ苦痛デアアル、下層ノ
人ガ重イ刑ヲ受ケルヨリモツト苦痛ガ多イノデアリマス
カラ、區裁判所ノ事件デアアルカラト云ッテ、地方裁判所ノ事件
ヨリモ慎重デナク取扱フト云フコトハ、元來間違テ居ルダ
ラウ、斯ウ思フノデアリマス、此三百六十三條ノ判決ノ場
合ニ於キマシテモ、私共ノ希望ハ、矢張地方裁判所ト同ジデ
ナケレバナラスモノト思ッテ居リマスカラ、證據ヲ取ル場合
ニ於キマシテモ、矢張地方裁判所ト同ジヤウニスル方ガ宜
カラウト思ヒマス、私共ノヤウニシテハ、政府ニ於テハ御差
支ガアルモノデアラウカ、諄イヤウデスガ今一應伺ヒマス

○林政府委員 事件ノ大小輕重ニ依リマシテ、多少訴訟手
續ヲ變ヘル方ガ宜イト云フコトヲ土臺ニ致シマシテ、サウ
シテ今御引用ニナッタ二三ノ事項ニ付テ、區裁判所ニ簡易
ノ手續ヲ認メテ居リマス、其他ノ事柄ニ付テハ、總テ地方裁
判所ト同様ニナッテ居リマス、サウ云フ次第デゴザイマス
カラ、政府ニ於テハ無論此案ガ實際ニ於テモ適當デアル、斯ウ
云フ考ヲ以テ提案致シタ譯デアリマス

○横山(勝)委員 成べく重複ヲ避ケタイト思ヒマスガ、缺
席シテ居タル場合モアリマスカラ、或ハ重複スルカモ知レマ
セヌ、併シ成ベク其事ヲ避ケル爲ニ、御出席ニナッタ委員ノ
方カラ大體ハ聽イテ居リマスガ、万一重複スルコトガアリ
マシタラバ、委員長カラ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、
其事ヲ希望シテ置キマス、色々ゴザイマスガ、私ハ先ヅ大體
ニ付テ承リタイノハ、只今當古君カラ略式手續ノ存否ニ付
テ御質問ガアリマシタ、之ニ關聯シテ承リタイト思ヒマス
ノハ、政府ハ頻リニ被告人若クハ利害關係人等ノ名譽ヲ保
護スル事柄ヲ顧慮セラレマシテ、殊ニ本案ノ中ニ於テハ、幾
多ノ名譽自由ノ保護ニ關スル規定ガアリマス、或ハ公訴提
起後ニ於テ、若クハ搜查處分ノ場合ニ於テ、從來ノ立法例ニ
餘リニ無イ名譽保護ト云フコトヲ、數箇所ニ現ハサレテ居
リマス、其趣旨ハ誠ニ結構デ、固ヨリ異論ハアリマセヌガ、
ソレニ付テ吾々疑問ノ起ルノハ、此裁判所構成法ノ規定ニ
依ル——其根原ハ憲法ノ規定ニ依ッテ裁判ヲ公開スルト云
フコトノ原則ヲ探ッテ居ルノデアリマス、此裁判ヲ公開スル
ト云フ原則ハ、界シテ今日之ヲ維持スル所ノ必要ガアルカ

ドウカ、過日來他ノ席ニ於テモ政府當局カラ承ッテ居リマ
スガ、一旦公開シタル法廷ニ於テ公ニシタルモノト雖モ、事件
終了ノ上ハ、裁判所ノ倉庫ニ藏ヒ込メ、秘密ニスベキモノ
デアル、ソレカラ又本案ニ於テハ、公判前ニ於テ記録ヲ公表
スルコトヲ得ズト云フコトヲ明記サレテ居ルノデアリマ
ス、デ先刻來當古君ト政府委員ノ間ニモ、其意味ニ於ケル間
答ガ澤山アリセシタ、恐ラク司法當局ハ、裁判公開ト云フ事
ニ付テ、特殊ノ考ヲ御持チニナッテ居ルモノデハナイカト私
ハ考ヘル、私モ今日ノ程度ニ於テ、裁判公開ト云フコトハ、
一考ヲ要スベキ問題デアルト考ヘテ居リマス、裁判所構成
法ハ單ニ風俗ヲ案ス場合、公安ヲ案ス場合トカ、此限ラレ
タル極メテ少ナイ場合ニ、裁判長ノ鑑識ニ依ッテ、公開ヲ禁
止スルコトニナッテ居リマスケレドモ、ドウモ今日ノ社會事
情ニ照シテ見マスルト云フト、或ハ東京市ノ疑獄事件ノ如
キ、或ハ滿鐵事件ノ如キ、政府當局ハドウ云フ考ヲ持ッテ居
ルカ分リマセヌガ、民間ニ於テハ確ニ斯ノ如キ事件ハ秘密
ノ間ニ開廷ヲ致シテ、秘密ノ間ニ此事件ヲ終了シテ貰ヒタ
イト云フ希望ヲ、一部ノ人ハ持ッテ居ルコトハ明瞭デアリマ
ス、併ナガラ裁判所ハ憲法及裁判所構成法ノ規定ニ從ッテ、
決シテ之ヲ秘密ニ審判スルコトハ出來ナイ、ソレデ只今林
政府委員カラモ御話ガアリマシタガ、略式ノ手續ヲ維持セ
ラル、根據ニ於テ、非難ガアルドコロデハナイ、大ニ希望シ
テ居ル者ガアル、裁判所ニ屢々、呼出サレテ、公開ノ法廷デ
審判ヲ受ケルコトモ、秘密ノ間ニ罰金其他輕イ刑罰ヲ濟マ
サレルノハ、當事者ハ非常ニ喜シテ居ルノデアリマス、實際
サウデアラウト私モ考ヘテ居ル、サウシテ今日ノ司法當局ハ、
兎ニ角當事者ノ人權ト云フモノヲ非常ニ尊重セラレテ、一
面ニ於テハ、名譽保護ノ規定ヲ澤山置キ、一面ニ於テハ法律
ヲ設ケテ、非公開デ裁判ヲスルト云フ主義ヲ特ニ認メント
シテ居ル、若シサウ云フ御考ガアルナラバ、茲ニ責任ヲ以テ
憲法ヲ改正シ、裁判所構成法ヲ改正シ、モット公開主義ヲ緊
縮シ、若クハ公開主義ヲ原則トシテ廢メルト云フコトニマ
デスルノガ、寧ろ徹底シタル意見デハナイカト思ヒマス、御
承知ノ通り裁判ヲ公開スルト云フコトハ、其理由ノ一ツハ、
司法官ニ對スル一種ノ疑惑ト云フモノガ之ヲ爲スコトニナ
ッタノデアリマス、數世紀前ニ於テ、專制政治家ガ秘密ノ間
ニ自分ノ敵人ヲ捕ヘテ來テ、極刑濫罰ヲヤッテ、サウシテ非
常ニ人權ヲ蹂躪スルト云フコトガ、或國ノ人權尊重ニ依ッ
テ裁判公開ト云フコトノ原則ヲ作ラレ、ソレカラ其法律ヲ承
繼シタル日本等モ、裁判公開ト云フコトヲ憲法モ保障シ、法
律ニモ認メルコトニナッタノデアリマス、今日ハ先刻來野副
君ノ質問ニ對シテモ、當古君ノ御質問ニ對シテモ、當局ガ辯
明セラレタ通り、非常ニ裁判官ノ素質ガ進歩シテ、苟モ法律

ヲ設ケテ、刑法ノ裁判ヲスルノニ、民權ヲ蹂躪スル者ハ一人モ無イト云フ現狀ニテ居リマス、事實ハドウカ知レマセヌガ、少クモ司法當局ガ信用スルニ足ルベキ裁判ヲスル程、裁判官ノ素質ガ進歩シテ居リマス、併ナガラ之ヲ秘密ニシタカラト云フテ、裁判官ガ人權ヲ蹂躪スルト云フコトハ、今日ノ所出來ナイノデアリマス、サウスレバ唯法律ノ中ニ二箇所ヤ三箇所ニ名譽ヲ保護シ、財産ヲ保護シヤウト云フ少サナ規定ヲ設ケルヨリモ、モウ一ツ大奮發ヲサレテ、憲法

ヲ保護スル上ニ、公開主義ガ惡イト考ヘテ居ルナラバ、其改正ニ著手サレル事ガ、當局ノ責任デアラウト思フ、故ニ此法案ヲ審議スル際ニ、ドウモ公開主義ガ惡イト云フコトヲ御考ガアツタノデアアルマイカト云フ事ヲ私ハ考ヘル、若シサウナラバ、其様ニ立法手段ヲ執ルコトガ、私ハ相當デアラウト思フ、要スルニ今日私ノ見所ヲ以テスレバ、裁判公開主義ハ、其立法ノ根據タル或ルモノハ消滅致シテ居ル、一面ニ於テ名譽ヲ保護シタリ爲ニ、成ベク秘密ニシテ吳レト云フ社會ノ要求モアル、此要求モ決シテ無礙ニ排斥スベキモノデナイト思フ、其意味ヲ以テ名譽保護ノ規定ヲ御置キニナツテ居リマス、ドウデアリマス、之ヲ御説明ヲ願ヒタイ

○山内政府委員 事憲法ノ改正ト云フコトニナレバ、是ハ重大問題デアリマス、併シ重大問題デアツテモ、ソレガドウシテ社會ノ秩序ヲ維持スルニ適セナイモノハ、除去スルノ手段ヲ執ラナレバナラスノデアリマス、併ナガラ裁判ヲ公開スルト云フ主義ハ、原則トシテ私ハ勸カスト云フノハ宜シクナイト云フ考ヲ持ッテ居ル、勿論裁判官ガ今日仕事ヲスルニ、或ハ人權ヲ蹂躪スルトカ、或ハ私ヲ行フト云フコトノ無イコトヲ、此事實ニ於テ保障スルモノト私共サウ考ヘデ居ル、併ナガラ只今横山君カラ言ハレマシタ通り、即チ公開ノ席ニ於テ裁判ヲスルト云フコトハ、結局裁判官ノ私ノ行為ナキ事ヲ保障スル一ツノ規定デアリマス、其事實ハ無シトシテモ、矢張無キコトヲ保障スル所ノ規定ハ、私ハナケレバナラスト考ヘテ居ルノミナラス、保障ノ規定ガナカッタラバ、自然私ニ亘ル行為ヲスル者ガナイトモ限ラヌ、私ノ考デハ、此公開ノ席ハ、裁判官ガ責任ヲ以テ仕事スルト云フ意味ニ於テ或ル廣キ意味カラ言フテ見マスレバ、矢張精神ハ唯人民ガ芝居見物ヲスルノト同ジニナイト云フ積リデ、國民監視ノ下ニ於テ責任アル行動ヲ執ルト云フ保障ノ規定デアリマス、此保障ノ規定ハ、憲法ガ保障シテ、裁判所構成法ガ之ヲ承ケテ規定シテ居ルノデ、之ヲ廢止スルト云フコトハ、私ハ適當デアルトハ考ヘテ居ナイ、併ナガラ事公安ニ害ガアルト云フヤウナコトニナルト、公開ニ付テ例外ヲ置クト云フコトモ、是ハ已ムヲ得ナイ事デアアル、又人ノ名譽ニ關

スルトキハ公開ヲシテモ困ル、又例ヘバ書類等ヲ、名譽ニ關スル書類ハ朗讀ヲサセナイト云フ意味ニ於テ、矢張或ル意味ニ於テ公開ニ對スル一ツノ例外ヲ置イテ居リマス、要スルニ此公開ノ原則ハ、儼然トシテ今日ノヤウニ存シテ居ルカラ、其適當ナル範圍ニ於テ此例外ヲ置クト云フコトノ主義ヲ、吾々ハ將來ニ於テモ維持スベキ、尊重スベキ立法デアルト考ヘテ居リマス

○横山(勝)委員 尙ホ關聯シテ御伺ヒシテ置キマスガ、只今ノ御答辯ニ依ルト、何所マデモ此原則ヲ保持シテ行キタイト云フノデアリマスガ、併ナガラ先刻申上ゲル通り、略式手續法デ秘密裁判ガアル、而シテ此秘密裁判ニ依ツテ、只今政府委員ノ御話デハ、年々五萬六千ト云フ裁判ヲ致シテ居ル、此中ニハ輕微ノ事件モアルガ、事實ニ於テハ輕微ノ事件許リトハ言ハレヌノデアリマス、全國ノ五萬六千ト云フ人ノ希望ヲ容レテ、略式手續ヲ保持シテ、サウシテ此裁判ノ公開ノ非常ナル弊害ノアルコトモアル、比較的輕微ノ犯罪ニ付テモサウデアリマス、所ガ略式手續ニ依ラズト雖モ、比較的輕微ノ裁判——輕微ノ事件ハ澤山アル、地方裁判所ノ如キニハ、現在ニ於テ其必要アルモノガ澤山アリマス、略式手續ニ屬シタル立法ノ精神ヲ擴張シテ、サウシテ地方裁判所或ハ控訴院等ノ裁判所ニ於テ、此例外ヲ擴張スルト云フコトハ、決シテ不都合デアイト思フ、此様ナ事ヲ政府ガ若シ利害關係人等ノ名譽ヲ維持スルト云フコトヲ念頭ニ置イテ斯ウ云フ立法ヲセラレルト云フ位ナラバ、刑事訴訟法ノ手續ニ於テモ、被告人ガデス、之ヲ要求シタル場合ニハ、秘密會議ニシタラドウカト私ハ思フ、併シ私ハ必シモ之ヲ贊成セスト云フ意味デ申スノデアリマセヌ、司法當局ノ立法手段ヲ徹底ナサシメルト云フ意味デ質問致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ今度ノ滿鐵事件ノ如キ、或ハ東京市獄事件ノ如キモ、喜ンデ之ヲ秘密ニスルコトヲ希望シ、要求スル者モアル、又或人ハ左様ニシタイト云フ希望ノアルト云フ事モ事實デアアル、是故ニ裁判所構成法、即チ現行法デハ、區裁判所ナドニ於テハ、風俗ヲ害スル公判ハ、公開シナイ場合ノ例デアリマス、此原則ノミヲ以テ司法當局ガ此事ヲ律セントスルノハ、餘リ姑息ト言ハナケレバナラス、二箇所モ三箇所モ被告人ノ名譽ヲ保護スルト云フ規定ヲ置キテ進ンデ被告人ガ相當ノ理由ヲ具シテ要求シタルトキハ、秘密主義ヲ認メテ宜イト思ヒマスガ、サウ云フ場合ヲ認メテ惡イト御考ヘニナツテ居リマス、伺ヒマス

○林政府委員 只今ノ御尋ニ付テハ、先程司法次官ノ御答中ニ含ンデ居ルヤウニ考ヘマスガ、私ヨリモウ一言申シテ置キタイト思ヒマス、對審判決ハ公開スベキコトガ原則デアリマス、憲法ニアリマス通りデ、是ハ又實際ニ於テモ極メ

テ必要ナル事デアラウト考ヘテ居リマス、憲法ニ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキダケガ例外トナツテ、此外ニ一個人デ要求シタル場合ニ、例外ヲ設ケタラドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ適當デアナイ思ヒマス、要スルニ公開ト云フコトハ、其人ニ對スル關係ニ於テノミデアナイ、一般社會ニ對シテ、裁所ト云フモノハ如何ニモ公正ノモノデアルト云フコトヲ知ラシメテ、裁判ノ威信ヲ保持シタイト云フノガ、一般社會ノ要求デアリマス、ドウモ被告人ニ於テ公開ヲ好マストモ、例外ヲ設クベキモノデナイト考ヘテ居リマス、ソレダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

○横山(勝)委員 サウスルト、私ガ冒頭ニ申上ゲタ略式手續ニ關聯シテ御尋シイト云フコトヲ申上ゲタノハ其處ナンデス、若シサウ云フ意味デアアルナラバ、略式手續ト云フモノヲ固持ナサル理由ガアルマイト思フ、之ヲ固持ナサル理由ト云フモノハ、比較的簡易ナ手續デ、年々五六千人ヲ處罰シテ、成績ヲ擧ゲテ居ル、非難ガアルドコロデハナイ、關係者ガ喜ンデ居ルノデアアル、即チ關係者ガ希望シテ秘密ニ裁判ヲシテ吳レト云フコトヲ要求シテ居ルノデアアル、確ニ國民ノ一角ニハサウ云フ者ガアルノデアアルト云フコトヲ認メテソレヲ根據ニ略式手續ヲ固持シテ居ルノデアアル、今ノ御答辯ノヤウニ、裁判ノ公開ハ裁判ノ神聖ヲ保障スル所以デアアル、一般ニ對スル保障デアアル、一般ノ要求デアルト、斯ウ云フ意味デ公開ヲ維持サレルナラバ、略式手續法ハ即時ニ廢サナケレバナラス、五萬、六萬、ノ人ヲ罰スルコトガ出來テ、寔ニ調法デアルト云フコトハ、司法省デハ其數字ノミヲ見テ居ルノデアアルガ其中ニハ幾多人權蹂躪ノ事實ガアルト云フコトヲ明言シテ憚ラナイ、四十一議會ニ於テモ豫算ノ第一分科デ御尋ヲ致シマシタ通り、現ニ本會裁判所ノ管内ニ於テ二十幾人ノ者ガ森林盜伐ヲヤツテ、比較的刑ノ輕微ナリシ者ハ兎ニ角略式手續ニ服シ、比較的重イ者ノミガ長野區裁判所ニ正式ノ裁判ヲ仰ギ、有罪トナツタカラ地方裁判所ニ控訴シテ、重イ者ハ皆無罪ニナツタ輕イ罰金ニ服シタ者ハ略式手續ニ服シテ、私ハ斯ウ云フ窃盜ノ罪ヲ着テ居ルガ、重イ者ハ皆無罪ニナツテ居ルト云フコトハ、現ニ私ノ扱テ居ル事件デアアル、斯ウ云フ事ハ司法省ノ當局ニ知レナイカラ、無イト思フテ居ルカラ知ラヌガ、年々五萬六萬アルト云フ中ニハ、斯様ナ者ガ果シテ何割アルカ知リマセヌガ、輕微ノ罪デアアルカラ、國民ガ默シテ居ルカラ知レヌガ、人權蹂躪、即チ司法上ノ罪惡ガ行ハレテ居ルノデアアル、澤山事件ヲ扱ッテ、喜ンデ居レバ喜ンデ居ルダケ多ク是ガ行ハレテ居ルノデアアルガ、比較的輕微ノ事件ガ小サイカラ明瞭ニナラナイノデアアル、ソナハ亂暴ナ法律ヲ保持スル理由ガ何處ニアルカト云バ寔ニ貧弱千萬、不都合ガアルドコロデハナイ、裁判所ニ

行カスデ、公開ノ席デ裁判ヲ受ケスデ簡單ニ濟ンデ樂デア
リマシタト、喜ンデ居ル者ガ澤山アルト云フガ、何故略式手
續ニ對スル當事者ノ秘密機關ヲ認メテヤテ居リナガラ、地
方裁判所控訴院ノ秘密主義ヲ認メナイカ、而モ一般ニ認メ
ルト云フデハナシ、特殊ノ事情ガアツテ、要求シテ場合ニ認
メタナラバドウカト云フノデアル、先刻ノ略式手續ヲ維持
ナサルノガ真正ナル答辯デアラナラバ、私ノ此質問ニ對ス
ル答辯ハ同一デナケレバナラス、私ハ先刻申シマシタ通り、
公開主義ガ宜イト云フコトハ思フデ居リマセヌガ、私ノ言フ
通りデナケレバ、司法省ノ議論ガ立タスト思フノデゴザイ
マス、此點ニ付テ今一應承リタイ

○林府委員 裁判ノ手續ハ公開ノ原則トスルノガ宜イト
云フコトハ、確信シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此原
則ヲ何處マデ徹底スルカ、即チ例外ノ範圍ヲドノ位認メル
カト云フコトハ、餘程問題デアルスコデ私ヨリ申ス迄モナ
ク、憲法ハ總テノ裁判ヲ公開スルト云フ原則ハ立テ居リ
マス、明文ニアル通り、對審判決ハ之ヲ公開スルト云フコト
ニナッテ居リマシテ、判決以外ノ決定命令ニ依ッテヤリマス
場合ニ於テハ、憲法ハ公開ノ原則ヲ立テ居リマセヌ、是ハ
矢張實際ノ事情ニ從テ、公開スルト云フコトガ適當デナイ
コトガアリマス、サウ云フ次第デアリマス、訴訟手續デ
モ、例ヘバ豫審デアルトカ、或ハ豫審ノ裁判、豫審決定デア
トカ云フモノハ、公開致シマセヌコトニナッテ居リマス、ソ
レデアリマス、裁判手續ハ原則ハ無論公開デアリマス、
ケレドモ、ソレヲ何處マデ徹底スルト云フコトハ、考ヘ物
デアラウト考ヘマス、ソコデ略式手續ニ付テハ、略式手續法
ヲ設ケマシタ趣意ニ鑑ミマシテ、書面審理デ簡易ニ手續ヲ
進行シテサウシテ裁判ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居ル
デアリマス、憲法ノ要求シテ居ラヌノハ勿論デアリマ
ス、又實際カラ考ヘマシテモ、之ヲ公開スルト云フコトハ
適當デナイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○横山(勝)委員 其餘ハ見解ノ違フ所デアリマス、ソ
レデ止メテ置キマス、其次ニ承リタイノハ、矢張此法案ニ至
大ノ影響ヲ有ツト思フ事デアリマス、法案自體ニ關係ヲ有ツ
ノミナラズ、法案ノ運用上私ハ非常ニ重大ナル關係ヲ有ツト
思ヒマス、法案ノ運用上私ハ非常ニ重大ナル關係ヲ有ツト
アリマス、檢察ノ制度ハ、法律ノ規定ニ依レバ、檢察ハ上官
ノ命令ニ從フコト云フコトニナッテ居リマス、裁判所構成法ニ
之ヲ明定シテ居ルノデアリマス、即チ檢察ハ悉ク上官ノ
命ニ從フ結果、茲ニ學者達ノ説明セラルル如ク、檢察同一體
トカ云フ原則ヲ生ズル、サウシテ檢察ト云フモノハ、日本全
國何處ノ檢察デモ一ツノ團體トナッテ、一本ノ絲ヲ引ケバ全
部ガ活動スルト云フ脈絡相通ジテ、上檢察總長ノ命令ハ、悉

クノ、檢察ニ行ハレル、管轄ガ異ナラウガ、裁判所ガ異ナラ
ウガ、審級ガ異ナラウガ悉ク檢察總長ノ命ニ服スル、其上ハ
又司法大臣ノ命ニ服スル、斯ウ云フ事ニナルノダラウト思
フ、又サウデアリマス、此原則ハ檢察ノ檢察トシテノ機能ヲ
完カラシムル上ニ於テ、寔ニ良キ制度デアリマセウシ、又此
原則ハ相當ナル效果ヲ現ハシタ事ハ、吾々之ヲ認メテ居リ
マス、併ナカラ此原則ニハ多大ノ弊害ヲ生ズルト云フコト
モ、亦政府當局御認ニナッテ居ラウト思フ、例ヘテ見レバ、常
ニ攻撃セラルル所ノ大浦事件ノ不起訴、私ハ之ニ對シテ多
少意見ヲ持ッテ居リマス、兎ニ角或ル人々カラ大浦ヲ不起
訴ニシタノハ、不都合デアルト云フ攻撃ガアル事ハ事實デ
アリマス、此攻撃ガ當テ居ルカドウカハ、別問題デアル、ソ
レカラ又吾々ノ側カラ申スト、今日澤山民間ニ公表セラレ
テアル事件ノ中デ、彼ノ者ヲ起訴セヌノハ不都合デアル、起
訴ヲ此程度ニ打切ッタノハ不都合デアルト云フ攻撃ノアル
コトモ事實デアリマス、斯ノ如クニシテ檢察ノ處分ニ對シ
テ、事件ノ起ル毎ニ不満足ガ起ツテ來ル、殊ニ政治的ノ色彩ヲ
帶ビタ犯罪事件デアル場合ニハ、必ス反對黨ノ側カラ之ニ對
シテ異議ガ起ツテ來ル、其源ハ何處デアルカト云フ、先刻
申上ガタ通り、檢察ハ上官ノ命ニ從フコト云フ原則ト
ナッテ居ル、ソレガ根據デアル、内閣ノ方針ニ依ッテ、如何ニ
重罪ヲ犯シタ者デモ、不起訴ニスルコトモ出來ル、起訴猶豫
ニスルコトモ出來ル、斯ウ云フ活殺自在ノ權能ヲ檢察團體
ニ與ヘテアツタ、ソコデ司法權ハ獨立デアルト云フコトヲ能
ク學者ガ申サレルガ、司法權獨立ノ實何處ニ在ルカ、幸ニシ
テ檢察ガ裁判官ノ機ノ上ニ運シタ事件ニ付テハ、或ハ司法
權ガ獨立シテ行動ヲ爲スコトガ出來ルカ知リマセヌガ、今
ノ檢察同一體ノ原則ニ依ッテ、閣カラ閣ニ罪ヲレタ事件ニ付
テハ、裁判官ハ之ヲ如何トモスルコトガ出來ナイ、今日機ノ
上デ一錢カ十錢ノ押領ノ犯人ヲ罰シテ居ル、サウシテ裁判
外ニ於テハ、人ヲ殺シ、火ヲ放シ、非常ナル罪ヲ犯シタ者ガ
アツテモ、裁判官ハ手ヲ束ネテ之ヲ看過シナケレバナラヌト
云フコトニナッテ居ル、是ハ司法權ガ獨立デアルト云フ意味
ガ、僅ニ裁判官ノ機ノ上ニ運バシタ事件ノミニ付テ、裁判官
ガ獨立ノ裁判ヲ爲スニ過ぎナイ、日本ノ領土内ニ於テ、總テ
ノ事件ニ付テ司法權ガ獨立シテ行動スルコトガ出來ナイ組
織ニナッテ居ル、人ヲ殺シ、火ヲ放シ、若シ内閣ノ御機嫌
召シタ者ナラバ、罰セラルルコトハナイ、若シ内閣ノ御機嫌
ノ惡イ犯罪人デアレバ、唯ダ一錢ノ錢ヲ取ツテモ裁判所ノ厄
介ニナラナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ル、是ガ實際
ノ狀況デアリマス、其本ハ悉ク是レ檢察制度カラ基因シテ
來ルト私ハ思ヒマス、故ニ司法權ノ獨立ト云フコトガ若シ
必要デアラナラバ、檢察ヲ裁判官同様にシ、上官ノ命令ヲ受

ケルナドト云フ規定ヲ全部削除シテ然ルベキコト考ヘル
ト九州ノ裁判所ノ檢察ハ、九州ノ事情ニ能ク通ジテ居ルカラ
ト九州カラ採消シ運動ニ來テモ、司法省ノ官吏ガ御干涉サ
ルコトハ宜クナイト思フ、北海道ノ事件ハ北海道ノ檢察ガ
一番能ク知ッテ居ル、是ハ北海道ノ檢察ニ委シテ然ルベキデ
アル、ソレヲドウ云フ方法デヤテ來ルカ知ラヌガ、今ノ原
則ニ依ッテ、所謂採消サレテ居ル例ガ澤山アル、此故ニ私ハ
裁判官獨立ノレカラ檢察獨立ト云フ制度ヲ認メル、上官ノ
命令ニ服スルナドト云フ規定ハ、一切止メテシマウ、ドノ政
派ニ屬サウガ、ドノ團體ニ屬サウガ、檢察ハ獨立ノ鑑識ヲ以
テ、ドノ犯罪デモ捉ヘテ、之ヲ監獄ニ入ルルト云フ威力ヲ檢
事ニ賦與スル必要ガアリハセヌカト思フ、司法省ノ當局ハ
御承知ノ通り、滿鐵事件ニ付テドウ云フ風評ガ世間ニアル
カト云フコトハ、御聞キニナッテ居ルデアリマセウ、其衝ニ
當ツタ者ハ、不眠不休ノ努力ヲシテ調べタ、所ガ所謂何處カ
ノ高等政策ニ依ッテ、不起訴ニセントスル傾向ガアル際ニ、
其職ヲ賭シテ論争セラレテ、漸ク一人カ二人ガ起訴ニナッ
タノダト云フ風評ガアルコトハ事實デアリマス、事ノ内容ハ
存ジマセヌケレドモ、サウ云フ風評ガ起ルコトハ、即チ司法
權ノ威信ニ非常ナル損害ヲ與ヘルノデアリマス、サウ云フ風
評ノ起ラスヤウニシタイ、其起ツテ來ル本ハ、上官ノ命ニ從
フト云フコトカラ流レテ來テ居ルト私ハ認メテ居ル、今日
ノ場合、司法權ガ行政權ノ奴隸トナッテ、其都合ノ好イヤウ
ニナッテ行クコト云フコトニナリマシタナラバ、恐ラクハ我
日本國ノ綱紀ト云フコトハ、全ク地ヲ拂フコトニナルダラウ
ト思ヒマス、是ハ唯刑事訴訟法ノ問題デケデアリマセヌ、最
モ重大ナル問題ト考ヘマス、幸ニ當席ニハ、皆檢察ノ職ヲ御
勤メニナッテ、令聞ノアツタ御方々ガ居ルノデアリマシテ、
上官ノ命令ニ從フコト云フコトデ、一遍ハ憤慨ナサレタコト
モアリハセヌカト思フ、斯ウ云フ事ニ付テ御考慮ノ點ガア
リマシタナラバ、一ツ詳細ニ承ッテ置キタイ

○林府委員 檢察制度ノ事ニ付キマシテハ、前會ニ山移
君カラ御尋ガアリマシテ、既ニ御答ガシデアリマス、此問題
ハ檢察制度ニ關スル根本ノ問題デアリマス、今御話ノヤ
ウニ、檢察ヲ全然判事ノ如ク獨立ニシテ、自己ノミノ判斷デ
勵ク、斯ウ云フ論ハ餘リ開カナイノデアリマス、唯行政官
タル司法大臣ノ命令ニ服スルノハ惡イト云フ論ハ、隨分今
日迄聞イテ居リマス、是モ餘程講究スベキ事柄デアルト考
ヘテ居リマス、併ナガラ先日山移君ニ御答シマシタ通り今
日此制度ヲ改メル意思ハナイ、斯ウ云フ事ヲ申上ガタ、ソレ
デ御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ 尙色々具體的ノ事實ヲ御引
キニナッテヤウデアリマス、ソレニ付テ一々具體的ニ申上
ゲルコトハ致シマセヌガ、唯滿鐵事件ニ付テ、主任檢察官職

ヲ贈シテ争ッテ、サウシテソレニ依ッテ漸ク起訴スルヤウニ
ナツトノデアルト云フヤウナ風評ガアルト云フコトデアリ
マスガ、是ハ私ハ意外ノ事デアリマス、サウ云フ風評モ私ハ
存ジマセヌガ、ソナナ事實ハナイト云フコトヲ、私ハ責任ヲ
以テ此處デ明言シテ憚リマセヌ次第デゴザイマス、左様御
諒承ヲ願ヒマス

○横山(勝)委員 サウ云フ問題ニ付テ御考慮ガ無イト云フ
ナラバ、已ムヲ得マセヌガ、ソレナラバ是ハ國家ノ重大問題
デアルト考ヘマスカラ、假令一日ト雖モ、檢事トシテ命令ヲ
傳セラレタル諸君ガ御出ニナツテ、サウシテ檢事ガ上官ノ命
令ニ服從スルト云フ規定ニ毫モ不便ヲ感ゼラレザルガ如キ
態度ヲ御示シナツテ、何カ朝鮮カ臺灣邊ノ檢事制度モ論
ズルヤウナ意味ニ御答辯ニナルト云フコトハ、私ハ不滿デ
アリマス、吾々ガ言ハスデモ、檢事ヲ一日デモヤツテ居ラ
レタ人ハ、直ニ研究シテ居ラナケレバナラヌ事デアル、サウ云
フ議論ハ勝手ニシタラ宜カラウト云フヤウナ御答辯ヲ爲サ
ルト云フコトナラバ、是ハ已ムヲ得マセヌガ、私ハソレハ甚
ダ職務ニ冷淡デアル、斯ウ云フ事柄ヲ御研究ニナツテ居ラヌ
ト云フコトデゴザイマスナラバ、洵ニ不熱心デアル、斯ウ云
フ事ダケヲ私ハ申上ゲテ、是ハ決シテ誹謗スル意味デモ何
デモナイ、誠意ヲ以テ御聞キヲ賜テ、サウシテ御研究ヲ願
ヒタイト思フ、吾々ハ民間ニ居ッテ、檢事ヲシテモット自由ナ
活動ヲセシメタイ、ドウモ申ト乙トノ事件ニ手加減ノアル
ヤウナコトヲシテ貰ヒタクナイ、ソレデ是ハ檢事ヲ賣メ
ノガ無理デアル、檢事ハ上官ノ命令ニ從フツ法文ガア
テ、ソレニ依ッテヤツテ居ル、民間ノ者ハソレヲ知ラヌデ、檢
事ハ不公平ヲスルト云フノハ、是ハ無理デアル、理解ノナイ
國民ハ、檢事ガ惡イト思ッテ居ル、是ハ法律ノ不備カラ來テ
居ル、斯ウ云フ事ハ一ツ熱心ニ御講究ヲ賜リタイ、斯ウ云フ
事ノ希望ヲ述ベテ其點ヲ終リマス、ソレカラ第三ニ御尋ネ
シタイノハ、裁判所ノ法廷ニ於ケル起立ノ問題デアリマス
ガ、此起立問題ガ、法律上如何ニ取扱ハルベキモノデアルカ
ト云フコトハ、是ハ私ガ申スマデモアリマス、古イ法律カ
何カ御持チニナツテ、法律上ノ根據ノアルコトヲ説明セラレ
テ居リマス、其當否ヲ私ハ言ヒマセヌ、要スルニ今日人民ノ
自由ヲ尊重セラル時代ニ於テ、檢事ノ辯論中、被告人ガ假令
一時間デモ二時間デモ起立ヲシテ、サウシテ身體ノ不自由
ヲ感ジツ、之ヲ忍耐致シテ居ラネバナラヌト云フコトハ、
是ハ決シテ稱讃スベキ習慣デハナイト思ヒマス、今日マデ數
十年ノ間、ソレヲ平氣デヤツテ居タノデアリマスケレドモ、
今日ニ於テ考ヘテ見レバ是ハ講究スベキ問題デアルト私ハ
考ヘマス、此問題ハ法律問題以外ニ、司法行政ノ方ノ力デ、

何トモ出來ルコトデアルト考ヘマスガ、是モ御考慮ヲ願ヒ
タイ、私ノ主トシテ問ハントスル所ハ今日裁判所ノ實例ヲ
見マスルト云フコト、檢事ガ自ら進ンデ、起立ヲスル必要ガナ
イカラ、座席ニ着カシメテ然ルベキデアルト云フコトヲ、裁
判長ニ申入レル檢事ガアル、若シ全國ノ裁判所ノ檢事ガ、斯
ウ出テ貰ヘレバ問題モ起ラナイ、ソレカラ又或ル裁判長ハ、
起立ヲ命ジテ、檢事ノ辯論ガ始マツタ際ニ、被告ニ對シテ起
立ヲ命ジテ、サウシテ其命令ヲ聞カズトモ、其儘放擲シテ居
ル裁判長モアル、現ニ東京地方裁判所ニサウ云フ事實ガアル、
命ヲ奉ズルモ可、命ヲ奉ゼザルモ可ナリ、ソレカラ第三ノ事
實ハ、起立ヲ命ジテ、其命令ニ應ゼザル被告ニ對シテ退退ヲ
命ジタ、サウシテ缺席裁判ヲアル、缺席裁判ト云フノハ、法
律ノ所謂缺席裁判デハアリマセヌガ、被告人ガ不在ノ儘審
理判決ヲ終ツタ、而シテソレガ御承知ノ通り法律違反デア
ルトシテ大審院ヘ還バレタケレドモ大審院ハ之ヲ承認シナカ
タ、此三ツノ事實ガ裁判所ニ於テ行ハレル、初メカラ起立
ヲ要セズト明言セラル、檢事ガアルシ、起立ヲ要求シテ之
ヲ要求シテ之ニ應ゼザルモ、其儘放擲シテ居ル裁判長モア
ル、起立ヲ命ジテ、起立ノ命ニ應ゼザル者ニ退退ヲ命ジテ、
缺席裁判ヲスルト云フ極端ナル習慣維持論者ガアル、裁判
所ニ於テモ此解釋ニ付テハ餘程迷ッテ居ルヤウデアル、恐ラ
ク司法當局カラ解釋ヲ一定セラレテ、相當ノ方法ヲ講ゼラ
レタナラバ、私ハ全國ノ裁判所デ斯ノ如キ失態ハ釀スマイ
ト思フノデス、甲ノ裁判所デハ起立ヲ命ジテ居ル、乙ノ裁判所
デハ起立ヲ命ジナイ、甲ノ法廷デハ起立ヲ命ジテ居ル、乙ノ法廷
ハ起立ヲ命ジナイ、甚シキニ至ッテハ退退ヲ命ジテ其儘裁
ヲスルト云フヤウナ極端ナ事ハ行ハレナイデ済ムダラ
ウト私ハ思フ、ソレデ裁判所構成法ノ規定ニ依レバ、不當
ハ言語行狀ヲ爲シタル者ニアラザレバ、退退ヲ命ズルコト
ハ出來ナイノデアル、是ガ裁判官ガ起立ヲ命ジテ、サウシテ
ソレニ應ジナイ一事ガ不當ナル行狀トナルカドウカ、別ニ
喧嘩ヲ吹ッ掛ケタノデモナケレバ、腕ヲ擡ッタノデモナイ、不
當ナル言語ヲ發シタルデモナイ、唯命ニ應ゼズト云フ一事
ガデスネ、是ガ不當ナル行狀ト云フコトガ云ヘルモノデア
リマスガ、ドウデアリマスカ假リニ裁判所構成法ノ解釋上
ニ多少ノ疑義アリトスルモ、斯ノ如キ全ク法律ノ運用カラ
中シマシテモ、事件ノ審理カラ申シマシテモ、今日ノ民情ニ
照シテ必要ノナキ從來ノ習慣ヲ維持シテ、ソレガ徒ラニ法
廷ニ騒ギテ起サシムルニ過ギヌト云フコトハ、私ハ必要ハ
ナイト思フノデアリマス、檢事ノ辯論中ニ被告人ガ立ッテ居
ルカラ、其辯論ガ良クナル氣遣モナク、檢事ガ辯論中被告ガ
腰ヲ掛ケテ居ッタカラ、檢事ノ辯論ガ惡クナル譯デモナシ、
何ニモ私ハ影響ハナイト思フ、是ハ恐ラク官尊民卑ノ舊思想

ガ今尙ホ裁判所ノ中ニ流レテ居ルカラ、サウ云フ結果ヲ來
スノデハナイト思ヒマス、之ニ對スル司法當局ノ御考慮
ニナツテ居ル所ハ如何デアリマスガ、私ハ成べく斯ウ云フ事
ノナイヤウニシテ貰ヒタレト云フ意味ニ於テ、希望旁々
問ヲ致シテ居ルノデアリマス

○山内政府委員 其點ニ付テハ、先般作間君カラ御質問ガ
アリマシテ、私カラ答ヘテ置キマシタ、更ニサウ云フ檢事ガ
澤山居ルト言ハレマシタケレドモ、私モ檢事ヲシテ居リマ
シタコトガアリマスケレドモ、司法省ノ民事ノ仕事ヲシテ
居ル方ニハナイ、其以外ノ事ハ一向承知シマセヌ、刑事訴
訟法ニ付テハ、私ハ毎々申ス通り素人デアリマス、而シテ只
今ノ起立問題ノ如キハ、實ハ私ハ法律ガアルカナイカ知リマ
セヌガ、大シタ事柄ト考ヘテ居ナカッタ、然ルニ立ツ立タヌ
ト云フコトデ、大分訟廷ニ波瀾ヲ生ジタト云フコトハ、頗
ル遺憾ト思ッテ居ルノデアリマス、勿論社會ノ事情ノ進ニ從
テ、夫レ々々古イ話ト忘ラレタヤウナ法律ハ、或ハ實質ノ
死ンデ居ルカト思ハレルヤウナ法律ソレヲ稱ニ取ッテ此仕
事ヲスルト云フコトハ、私ハ嫌ヒデアル、而シテ先般波瀾
ニナツタ多クノ事件ガ、裁判官ガ訊問スルトソレニ、矢張從前
ノ慣習カラデモ、裁判官ガ立テ云ツタ時ニ、ソレニ應ゼザ
ルノミナラズ、其態度ト云フモノハ頗ル傲慢ノモノガアツタ
ヤウニモ聞イテ居ル、其事件ガドウデアラド云フコトハ、是
ハ申上ゲマセヌ、斯ウ云フコトカラ波瀾ヲ起スト云フコト
ハ、私ハ面白イ事デハナイト思ッテ居ル、此問題ニ付テハ作
間君ニ既ニ答ヘテ置キマシタガ、斯ウ云フ習慣ガアツテ、ソ
レガ社會ノ事情ニ合ハヌト云フコトデアレバ、何時デモ變
更スル考ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ更ニ茲ニ再言致シマシ
テ御答ヲ致シマス

○横山(勝)委員 其點ニ付テハ、問題ハ甚ダ輕微ナヤウデ
アリマスガ、併ナガラ裁判ノ威信ヲ保ツ上ニ於テハ、最モ必
要デアリマス、尙モ裁判長ガ命令ヲシタ以上ハ、ソレガ合法
ナル命令デ、今日ノ民情ニ適スル命令デアラナラバ、誰シモ
維持シテ行カナケレバナラヌケレドモ、先刻申上ゲタ如ク、
當局モ略々御諒解ニナツテ居ル如ク、餘リ必要ノ無イ事ナラ
バ、徒ラニ舊慣ヲ維持シテ、サウシテ官民衝突ノ狀態ヲ暴露
シテ、司法ノ威信ニ傷ケルト云フガ如キコトハナカラシム
ル方ガ、私ハ結構デアルト思ッテ居リマス、其意味ニ於テ更
ニ御考慮ヲ煩ハシタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ過日來
私ハ司法次官トノ間ニ未了ニ終ッテ居ル問題デアリマスガ、
書類ノ秘密問題デアリマス、即チ第四ノ書類ノ問題ヲ御尋
ネ致シタイ、ソレハ大抵問題ハ定マツテ居リマスカラ、極ク
範圍ヲ狹メテ質問ヲ致シマス、第五十五條ニハ「訴訟ニ關ス
ル書類ハ公判開廷前ニ於テハ之ヲ公ニスルコトヲ得ス」斯

ウ云フ原則ヲ置カレマシタ、此原則ハ、本案ノ如キ明文無シト雖モ、從來大體ニ於テ斯ノ如ク扱ハレテ居タト思ヒマス、併ナガラ例外ハ無論アル、ソコデ此原則ヲ立テマシム以上ハ、吾々ハ諒解シテ居ラナケレバナラヌ事ガアリマスコトハ、從來豫審終結決定ガ、公判開廷前ニ屢々公表セラルルト云フ事實ガ、司法當局モ御認メニナッテ居ラウト思ヒマス、而シテ又世人ガ注目シテ居ル事件デ、裁判所ノ一應ノ調査ガ終リシナラバ、之ヲ公表スルコトガ、却テ事實ノ爲ニ好都合デアアル、豫審ハ終結シテモ、尙且ツ裁判所ガ之ヲ秘密ニスルト云フコトデアリマスナラバ、新聞記者ノ方デハ色々ナ想像ヲスル、斷片ノ事實ヲ蒐メテ、サウシテ自己ノ鑑識ニ依テ記事ヲ作テ書キマシテモ、ドウモ是ハ絕對ニ間違ハヌト云ヘナイ、間違タ事實ヲ報道セラレテハ、却テ其關係者ノ迷惑スル所デアアル、一通リ檢察官起訴シテ、訊問ヲ終ッデ、豫審判事モ調査ラシテ、大體之ニ違ヒガナイト云フコトニナッテナラバ、公判開廷マデ幾何ノ時間モナイノデアリマスカラ、之ヲ希望スル者ガアルナラバ、却テ公表シタ方ガ便利デアラウト思フ、殊ニ報道機關ガ之ヲ知リタイト云フナラバ、民衆ノ爲ニ之ヲ公開スル方ガ、私ハ宜イト思フ、ソレヲ絕對ニ公開セバナラヌト云フコトヲ私ハ要求ハ致シマセスケレドモ豫審終結決定トカ、檢事ノ起訴書トカ、單純ナモノハ、私ハ示シタ方宜イト思フ、本案ノ五十五條ハ、斯ノ如キモノモ矢張取締ルト云フ意味デアリマス、又サウ云フ意味デアラナラバ、私ノ申上ゲル意味ニ於テ、茲ニ多少ノ修正ヲ認メラレル御考ガアルデアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 是ハ第五章ノ關係デ、裁判ノ告知ハ、公判廷ニ於テハ宣告ニ依ッテ之ヲ爲シ、其他ノ場合ニハ、謄本ヲ送達シテ之ヲスルト云フコトデ、裁判ハ總テ告示サルベキモノデアリマス、告知後ニ於テ尙ホ是ガ公ノモノデアルカナイカト云フ問題ガ、即チ五十五條ヘ關係シテ來ルノデアリマス、訴訟ニ關スル書類ト云ヘバ、極ク廣イノデスガ、書類ト申シマス、裁判書デモ無論書類デアリマス、サリナガラ裁判書ト云フモノハ、特殊ノ性質ヲ有チマスカラ、一旦告知シタモノガ、尙ホ之ヲ公ニシテハナラヌト云フ所マデ、解釋ガ行カドウカト云フ問題ニナルノデアリマス、此問題ニ付テハ、從來特ニ問題トシテ政究致シタコトハ、私ノ知ッテ居ル範圍デハ無イノデスガ、解釋シテ告知シタル裁判書ガ公ニ出來タト云フコトハナカラウカト思ヒマス

○横山(勝)委員 御答辯ノ言葉ハ分リマシタガ、ソレデハ具體的ニ聽イテ見タイ、豫審終結決定ハドウナルノデアリマス

○山岡政府委員 公ニシテ宜シイノデアリマス

○横山(勝)委員 サウスルト茲ニ承テ置キタイノハ、豫審終結決定ノ如キモノハ、公表シテモ宜シイトナルト、公判ニ付スル以前ニ於テ、或ル書類ヲ秘密ニセラルルト云フ趣旨ハ中ス迄モナク關係者ノ名譽ヲ保護シタイト云フ意味デアルト云フコトハ、此五十五條ノ條文ヲ待タズト雖モ、司法當局ガ斯ノ如キ考ヲ有ッテ居ラルト云フコトハ、諒解シテ居リマスガ、茲ニ吾々常ニ感ジテ居ルコトハ、警視廳ガ事件ヲ檢舉シタ際ニ、警視廳ガ一通リノ取調ヲ終ッテ、之ヲ檢事ニ送致スル、其場合ニ事件ヲ大體ハ悉ク新聞紙ニ公表セラレマス、例ヘテ見レバ、四元植ノ東京驛頭ニ於テ殺サレタ事件ノ如キ、新聞紙ニ對シテハ、檢事デアッタカ、内務大臣デアッタカ知リマセヌガ、記事ノ掲載ヲ禁ジテ置イデ、サウシテ一面ニ於テ警視廳ハ死力ヲ盡シテ此犯罪事件ノ搜索ニ努メテ、長崎カ何處カテ漸ク捕ヘタト云フコトヲ發表シタ、サウシテ刑事ノ苦心談ナルモノガ發表セラレタ、一面ニ於テ新聞紙ノ方ニハ記事ノ差止ヲヤッテ居ル、警視廳ノ方デハ自由ニソレヲ新聞記者ニ話シテ之ヲ公ニスル、斯ウ云フ事ハ自ノ事件デモサウデアアル、此時分ニ吾々ガ一番不快ニ思フノハ、警視廳内部ノ事デ、司法省ハ御關係ノナイコトデアリマスケレドモ、一ツノ重大ナル犯人ガ學ガルト云フト、直ニ其事ニ依ッテ相當ナル恩賞ニ預カル、サウシテ殆ド警視廳デ裁判ラシタヤウナ譯デ斯ウ云フ犯罪ヲヤッタ者ヲ何處デ捕ヘタト云フコトヲ殆ド警視廳デ裁判ラシマウ、此爲ニ名譽ヲ毀損セラレルト云フ事柄ハ、決シテ司法裁判所ニ於テ區々ノ訴訟記録ヲ倉ノ中ニ藏ヒ込メ、其名譽ヲ保持スルト云フヤウナコトデ、到底恢復ノ出來ルモノデナイト云フコトハ御承知ダラウト思フ、或ハ司法當局ハ、ソレハ内務省ノ管轄デ、警視廳監ノ問題デアルト仰シヤルカモ知レマセスガ、苟モ此刑事訴訟法ト云フヤウナ大キナ法案ヲ出シテ或ル程度迄、或ル時期迄、犯罪事件ヲ秘密ニシテ、サウシテ一面ニ於テ搜索檢舉ノ便宜ヲ圖リ、一面ニ於テ關係者ノ名譽ヲ保護スルト云フ立法ノ精神ヲ貫徹セントスルナラバ、其事前ニ於テ警視廳ガドシヘ公表シテ人ノ名譽ヲ害シ、檢舉ノ進行ヲ妨ゲラルトニ付テ、何カ取締法ガナケレバ何モナラヌト考ヘラレル、司法官ノ方デハ、馬鹿正直ニ一生懸命法律ノ規定ニ依ッテ、倉ノ中ニ藏ヒ込メ、鍵ヲカケテ置イテモ、其以前ニ警視廳デ以テ彼處ノ門前デ悉ク發表サレテ居ル、是ハ立法上不備デアルカ、解釋上ノ不備デアルカ、或ハ行政監督ノ不備デアルカ、存ジマセスケレドモ、是ハ甚ダ國民ノ側カラ見テ、不可思議千萬ナ現象デアアル、司法省ノ方デハ、ドナナ規定ヲ御作リニナッテモ、其前ヲドウスルカト云フコトヲ御處理ナサラナケレバナラヌト思フ、其點ニ

付テ政府内部ニハ統一ガナイノデアルカドウカ、統一ガアルナラバ、ソコデ何カシテ御改革ニナラナケレバナラヌト思フ、併ナガラ私ノ質問スル意味ハ、此元來ノ五十五條ノ規定ニハ私ハ反對デアリマス、是ハ警視廳ガ犯罪人ヲ拘引シ、其嫌疑者ガ犯罪人デアルト云フコトヲ新聞記者ニ語ルト云フコトハ、決シテ惡イ事トハ思ハヌケレドモ、一面ニ於テ斯ウ云フ立法ヲ設ケテハ、公判開廷前ニ其人ノ一切ノ秘密ヲ公表セヌト云フ嚴格ナル原則ヲ作ラナラバ、國家ノ表玄關ノ警視廳ノ方デサウ云フ事ヲヤッテ居ラナラバ、横手ノ方ノ玄關ノ司法省デ斯ウ云フ規定ヲ設ケルノハ、餘リ效力ガ無イコトデアリナカト思フ、矢張立法ノ精神ヲ貫徹セシムル意味ニ於テ、此邊ハ如何ニ御取計ニナルカト云フコトヲ如何ニ考慮セラレテ居ラカト云フ事ヲ承ッテ置キタイ

○山内政府委員 私ハ此事件ガ、捜査事件ガ——殊ニ非常ニ困難ナル捜査事件ガ新聞ニ出ル、而シテ中ニハ新聞デハ其書方ニ依ルノデアリマスガ、殆ド犯罪シタ者ノ如ク其惡德ヲ責メテ、サウシテ之ヲ記事ニ掲ゲルト云フコトハ、頗ル宜シクナイ事ト私ハ考ヘテ居リマス、未ダ檢事ノ手ニ移ラザル間ニ於テ、或ハ既ニ檢事ノ手ニ移ッテ、豫審其他捜査中ニ、是ガ記事ニ現ハレルト云フコトハ、捜査ノ方面ニ害ヲ及シ、或ハ事件ニ關係アル人ノ名譽ヲ毀損スルト云フコトニモ、餘程重大ナモノデアルト云フ事ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ此事件ニ關スル事、殊ニ人ノ名譽ニ關スルト云フヤウナ事ヲ新聞ニ公表スルト云フ事ハ、努メテ避ケナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ警視廳ノ方カラ洩レタヤ否ヤ、ソレハ私ハ承知致シマセヌガ、併ナガラ色々記事ガ出ルト云フコトデアアル以上、警察官ノ方ニモ色々交渉シテ、其秘密ノ警察カラ洩レナイト云フヤウニ、斷ニ力ヲ致シテ居ルノデアリマス、是カラ後、陪審ト云フモノガ行ハレルト云フコトニナッタ時、新聞デ以テ非常ニ調査中ニ非難攻撃ラシテシマウト云フコトニナルト、其新聞ノ記事ニ依ッテ動サレテ、豫審ヲ促スト云フコトニナッタナラバ、陪審法ノ實施ノ上ニ於テモ、餘程弊害ヲ來スコト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、矢張此公表ト云フコトハ、公表スルコトヲ得ル時期ニ達スアルノデアアルノデアリマス、其點ニ付テハ斷ヘズ内務當局トノ間ニハ能ク打合シテ、過チナカラ新聞コトヲ期スルダケノ手段ヲ執ッテ居ルノデアリマス、若シ是ガ警察カラ洩レタト云フコトデアラナラバ、本員ハ頗ル遺憾トスル所デアリマスケレドモ、果シテ警察カラ洩レタヤ否ヤ、ソレハ私ハ承知致シマセヌノデアリマス、内務當局ニ於テモ、其事ニ付テハ餘程努力セラレテ居ルコトハ、私ハ考ヘテ居リマスルノ

ミナラス、尙ホ將來ニ向ッテハ、一層此秘密ノ洩レザルコトニ注意スルト云フ覺悟ハ持ッテ居ルノデアリマス

○山岡政府委員 司法次官カラ御答致シマシタノデ、要旨ハ盡キテ居リマスガ、只此五十五條ト牽聯致ス問題デゴザリマスカラ、一言ヲ附加致シテ置キマス、裁判所ニ行キマシテ、之ヲ公判ニ付シマスルマデハ、書類ヲ公ニスル事ハ出來ナイ、斯ウ云フト同時ニ、此搜查ト云フモノハ、性質上秘密デアリマスルカラ、之ヲ搜查ノ規定ノ二百五十三條ニ於キマシテ明記致シマシテ、搜查ト云フモノハ秘密デアール、隨ッテ被疑者其地ノ者ノ名譽ヲ毀損シテハナラナイ、斯ウ云フ事ヲ規定シテ置キマシタノデゴザリマスカラ、此法案ガ法律トナリマシタル後ニ於キマシテハ、今日迄ノ如ク役人ノ方面カラ搜查事項ヲ公ニシテ以テ、其者若クハ關係者ノ名譽ヲ毀損スルト云フコトハナクナルコトニナッテ居ルノデアリマス、唯今日マデノ處ハ、只今司法次官ノ述ベラレタヤウナ事ニナッテ居リマス、法律關係ハ斯様ナコトニナッテ居リマス

○横山(勝)委員 只今此問題トナッテ居ル事項ハ、將來問題ヲ起スベキ事項ト考ヘマスカラシテ、尙ホ疑ノアル事ヲ實シテ置キマス、ドウモ私ノ見様ガ惡イノカ、又御説明ヲ承ル耳ガ惡イノカ、何レカ存ジマセヌガ、ドウモ次官ノ答辯ニ依ルト、ドコモデモ秘密ニシテ、ドコモデモ名譽ヲ維持シナケレバナラヌト云フコトニ、非常ニ力ヲ努メテ答辯ヲサレテ居ル、所ガ只今此五十五條ノ「公判開廷前ニ於テハ之ヲ公ニスルコトヲ得ス」ト云フ規定ノ立法ノ意味ヲ、山岡政府委員カラ御説明シニナツト、サウ大シタ違ヒデモナイヤウデアリマスカラ、ドウモ吾々ノ此五十五條ヲ解釋スル所ニ依レバ、訴訟ニ關スル書類ト云フモノ、中ニハ、ドウモ豫審終結決定ナルモノハ這入リハセヌカト思フ、ソレカラ判決書ノ如キモノ、矢張訴訟ニ關スル書類ト云フモノニ這入リハセヌカト思フ、サウスルト公判開廷前ト云フモノガ、一番ノ公判開廷前カラ中シマスルト、豫審終結決定シカアリマセヌケレドモ、一審公判開廷前ニマテ擴ゲテ見ルト云フト、一番ノ判決書モ之ニ含ムヤウニ解釋ガ出來ル、茲ニ矢張一例ヲ舉ゲテ中シマスルナラバ、アノ滿鐵事件ノ豫審調書ノ如キモノ、是ハ豫審調書自體デハナイ、豫審終結決定ノ自體ガ、アノ被告人ニナッテ居ル人ノ非常ナ名譽ニ關スルコトデアルト思フ、ソレマデハ色々、擧げ難ク新聞紙ノ上ニ傳ヘラレテアリマシタケレドモ、併シ事柄ノ真相ハマダ分ラナカッタノデアリマス、殊ニ豫審終結決定ニ依ッテ、明瞭ニ犯罪ノ事實ヲ指摘シタノデアリマス、ソレカラ阿片事件ノ豫審終結決定モ、矢張同ジ事デアル、之ニ依ッテ高位高官ニアリシ人ガ、五萬圓ヲ取ッタ事實ガ明瞭ニ分ッテ居ル、ソレガ爲

ニ勅令マデモ作ッタト云フ事マデモ分ッテ居ルデアルカラシテ、是等ハ矢張山内政府委員ノ御説明ニナリマシタヤウナ嚴格ナ意味カラ申シマス、此訴訟ニ關スル書類ノ保管ヲスルノデハナイカト思ハレル、五十條ノ規定デ、裁判ノ告知ハ公判廷ニ於テハ宣告ニ依リ之ヲ爲シ其他ノ場合ニ於テハ裁判所ノ謄本ヲ送達シテ之ヲ爲スヘシ、斯ウアリマスカラシテ、或ハ此豫審終結決定ト云フモノヲ裁判書ト見テ、之ヲ送達スル以後ニ於テ差支ナイト云フ御意思カモ知レマセヌガ、然ラバ此送達前ニ於テハドウスルカ、被告人ハ大正十一年三月十五日ニ定ッテ、サウシテ新聞紙ニハ三月十四日ニ書イテ居ルト云フ場合ニ、前日ニ司法當局ガ裁判所デ之ヲ新聞紙ニ公表シタモノト見ナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニハ、無論五十五條ニ當ル、斯ウ云フヤウニ諒解シテ宜シウゴザリマス

○山岡政府委員 只今御質問ノ前段デアリマスガ、訴訟ニ關スル書類ト云フ中ニハ、判決其他ノ裁判書ガ含ンデ居リマスルコトハ、先程申上ゲタヤウニ無論解釋出來ルノデアリマス、唯是ハ一般ノ原則ヲ示シタノデアリマスカラ、他ノ法文上ノ解釋カラシテ、除外例ガ出テ來ルト云フコトハ、是ハ免レナイ、ソコデ其除外例トナッテ行フカ否ヤト云フコトハ、私ノ解釋トシテハ、裁判書ト云フモノハ、苟モ告知サレタト云フ以上ハ、茲ニ當事者ニ公開サレタモノデアール、或ハ一般ニ公開サレタモノデアール、二者其一ヲ出デアル、兎ニ角公開サレテ來ル、即チ公判廷ニ於テ之ヲ爲セバ、秘密法廷ニセナイ限りハ、一般公開ニナッテ來マス事、決定デアリマシテモ其通りデアリマス、ソレカラ又當事者送達ノ後ハ、當事者ニ兎ニ角公ニサレテ居ル、ソレノ送達セナイ前ニ於テ公ニスルコトハ出來ナイコトハ、只今御説明ノ通りデアリマス、此點ハ御説明ト同一デアリマス、唯告知サレタ後ニ於テ、是ガ被告人ノ手カラ自分ハ斯ノ如キ犯罪ヲシタコトガナイ、實ハシナイノダ、斯ウ云フ人ニ公ニシタ所デ、是ガ問題ニナルト云フ事ハ私ハナイト思フ、裁判ノ性質ト云フモノハ、兎ニ角一部ニ示スカ、或ハ全部ニ示スカ、何レニシテモ之ヲ知ラセルモノデアリマスカラ、サウ云フ意味デ、原則ノ點ハ御説明ノ通りデアール、唯ダ解釋ガ裁判ト云フモノガ告知サレタ後ニドウ云フ結果ニナルカ、勿論是ハ解釋ガサウデアレバ、明文ニ解釋ヲ掲ゲテナクテモ、解釋トシテハ斯様ニ解釋シナケレバナラス、斯ウ思フ次第デアリマス

○横山(勝)委員 大體分リマシタガ、サウスレバ五十五條ニ付テモウツ御尋ネ致シマス、五十五條ノ公判開廷前ト云フノハ、第一審ノ公判開廷前ト云フコトニ自カラ限局サレテ來ルト思ヒマスガ、如何デスカ

○山岡政府委員 其通りデアリマス

○横山(勝)委員 サウスルト此五十五條ノ原則ヲ立テラレタル根據ニ付テ承リタイ、詰リ從來ノ習慣ハ、送達前ト雖モ之ヲ公表サレテ居タト私ハ認メテ居ル、サウスルト、從來ノ習慣ヲ破ツテ、送達前ニハ之ヲ新聞紙ニ發表シテハナラヌト云フ原則ヲ御立テニナツタ意味ハ、ドウ云フノデアールカ、僅カ一日カ半日ノ所デアリマス、何モ從來ノ習慣ヲ改メ必要ハナイト私ハ思フ、ソレデモ一日ナリ半日デモ、被告人ニ行クマデソレヲ保護シテ、ドウシテモ決定後デナケレバナラスト云フコトニシテ特殊ノ理由ハ、何處ニアリマス

○山岡政府委員 ソレハ事實ノ問題ニナリマス、一體裁判ト云フモノガ、當事者ニ告グラレルカ、或ハ公開サレナイ前ニ、是ガ公開サレルト云フコトハ、現今ノ刑事訴訟法ニ於テモ、法理ガラ言ヘバアルベカラザルコトデアール、其點ハモウ現行法ノ下ニ於テモ、此法案トシテノ解釋トシテモ、私ハ區別ナイト思フ、唯ダ事實ハ御説明ノヤウニ、其前ニ公ニナツタ場合モナイトハ申サレナイノデアリマス、殊ニ今日迄ノ所デハ、搜索上ニ於テ適當ナリシヤ否ヤハ別デゴザリマスガ、此秘密タルベキ搜索ガ、外ニ漏タ事ガ無イトハ言ヘナイ、ソレ故ニ搜索ノ秘密ヲ、法文ニ於キマス、搜索トシテハ何處マデモ秘密ニ致サナケレバナラス、ソレカラ豫審ニ移ッテ來レバ、豫審ハ公判ノ開廷後デナケレバ、之ヲ明カニシテハ行カナイ、是ハ殊ニ裁判ノ信用論ニ關スル事ト私ハ思ヒマス、裁判ト云フモノハ、公開廷ニ於テ之ヲ一般ニ示シテ始メテ一般ノ人ガ公開廷ニ於テ之ヲ知ッテサウシテ進ムノデナケレバ、眞ノ裁判ト云フモノハ出來ナイ、若シ公開廷以外ニ於テ、各人ノ頭ニアルモノガ出來ルト云フコトニナルト、非常ニ害ガアル、例ヘバ豫審ニ呼バナイ證人ガ、新聞紙ヲ通ジテ色々ナ事ヲ知ッテ居ル、是ハ公判廷ヘ出テ來テ、自己ノ記憶カラ述ベナケレバナラスモノガ、他ノ者カラ注入サレタ事ヲ述ベルコトニナリマス、裁判公開主義ヲ探ッテ、而シテ公判ト云フモノヲ裁判ノ中心トスル現今ノ刑事訴訟手續ニ於キマシテハ、是ハ當然スル如クナラナケレバイカスト云フコトモ、裁判ト云フ事實法理カラ私ハ言ハナケレバナラスト思フ、ソレ故ニ此規定ハ、唯ダ急ニ斯ウ云フモノヲ拵ヘタト云フ意味デハナクシテ、精神トシテ斯ウナラナケレバナラスモノダト、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス

○横山(勝)委員 ソレデハ此實際問題ニ當嵌メテ、五十五條ノ適用ニ付テ承、テ置キマス、所謂公判開廷前ニハ、他ノ裁判所ノ決定ニ基イテ取寄ヲ申出タル場合ニ於テモ、之ニ應ジナイ意味デアリマス、カドウカ、是カラ公判ニナラウト云フ書類ヲ、他ノ事案ニ付テ急イデ必要ガアルカラ、一寸取寄ニ應ジテ吳レト云フ場合ニ、應ゼザル意味ヲ包含シテ

○山岡政府委員、是ハ一般ニ公ニシテハイカナイト云フ精神、デゴザイマシテ、他ノ裁判所カラ取寄ラシタ場合ニ於テハ、是ハ此規定カラ制限スルト云フコトハナイノデアリマス、唯テ豫審ヲ經マシテ、今公判ニ付スルト云フ書類ヲ、他ノ裁判所カラ記録取寄ヲ申出マシテモ、事實ノ上ニ於テハ之ヲ渡サヌ場合ガ多イノデアリマセウシ、又斯様ナ記録ヲ要求スルコトモ少イダラウト思フ、若シ要求スル場合ニハ少シモ差支ナイ、開廷ノ都合上ニ於テ、毫モ關係ガナイトスレバ、一時之ヲ渡シテモ、此法文ニ毫モ抵觸ハ致シマセヌノデアリマス、ソレカラ又此法文ニ於テ、公判開廷後ニ於キマシテ公ニシテ宜イト云フ反對ノ解釋デゴザイマスガ、是ハ反對解釋方直ニ出ルトハ思ハレナイノデゴザイマス、ソレデ公判開廷後ニナリマスと云フト、其記録ノ性質ト云フモノハ、豫算委員會ニ於キマシテモ、亦此席ニ於キマシテモ、出マシタト同様ナル性質ニナッテ來ルノデアル、斯ウ解釋スベキモノデアルト存ジマス

C樹山勝委員 次ニ承リタイノハ、刑事ノ被告人ヲ監獄署ニ勾留スルコトヲ本案ハ認メテ居リマス、是ハ現行法ト其點ニ於テ差異ハアルマイト思フ、唯タ法律ノ運用上、此法律ノ立法ニ參與セラレタ諸公ノ御意見ヲ承テ置キタイコトハ、一體法律デアルヲ監獄ニ勾禁シテ、サウシテ數十日、數箇月、甚シキニ至テハ一年監獄ニ入レテ、サウシテ國家ガ非常ナル監獄費ヲ支拂フト云フコトハ、是レ已ムヲ得ザルコト、ハ存ジマスガ、非常ニ窮策デアルト私ハ考ヘル、有罪カ無罪カ分ラヌ者ヲ無斷デ引張テ來テ監獄ニ入レテ置ク、サウシテ良民ガ其費用ヲ出ス、サウシテ今度ノ法案ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ストアツテ、ソレモ決定スル迄ハ、四箇月ニナラウト、六箇月ニナラウト、自由自在デアルカラ、是ハ實質ニ於テハ從來ノ通りデ、無制限ニヤラレテモ、差支ナイ事ニナル、是ハ甚ダ人民ノ側カラ危險千万ナ法律デアリマス、眞ニ罪ヲ犯シタ者デアルナラバ、是ハ已ムヲ得マセヌガ、嫌疑中ニ直ニ勾禁セラレテ、サウシテ數箇月ノ久シキニ亙テ自由ヲ束縛セラル、ト云フコトハ、洵ニ都合ナ事デアル、是ハ法案ノ上ニ於テ二箇月ト云フ制限ヲ設ケラレタノモ、其用意ノ存スル所デアルト思ヒマスガ、併ナガラ此法律ハ、元來人ヲ勾引スルコトヲ以テ即チ勾引狀ニ依ツテ

ト云フ人ハ、被告ニ取テハ非常ナ犠牲デアル、萬已ムヲ得ザル場合ニ於テ爲スベキ處置デアルト云フコトハ疑ナイ、勿論被告人ハ勾留ヲシナイノガ原則デアル、ソコデ法律ニ於テハ、訴訟手續ヲ遂行スル上ニ於テ、ドウシテモ已ムヲ得ザルヤウナ場合ニ、即チ特ニ斯クノ場合ニ於テハ勾留スルコトハ、非常ナ例外デアルト云フコトハ、本案ノ精神トシテ疑ナイ事デアリマス、殊ニ本案ニ於テハ、勾留ニ付キマシテ居ハ、非常ナ注意ヲ拂ヒマシテ、サウシテ勾留ハ二箇月シカナナイ、ドンナ複雑ナ事件デアッテモ二箇月、併ナガラ事件ニ依リマシテハ、二箇月熱心ニ調ベマシテモ、非常ニ複雑シテ居ラマデ、マダ目鼻ガ付カヌト云フコトモ絶無デハナイノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ已ヲ得メヌカラ、サウ云フ場合ニハ特ニ勾留期間ヲ更新スルト云フ決定ヲシナケレバナラス、サウデナケレバ釋放シナケレバナラス、横山君ノ御話デハ、コンナ規定ガアッタ所ガ、實際同ジ事デアル、斯ウ云フノデアリマシタガ、ソレハ本案ノ趣旨トハ非常ニ離レテ居ル、本案ニ於テハ、勾留ノ更新ノ決定ヲスル場合ニ於テハ、理由ヲ附シテ決定シナケレバナラス、而シテ其決定ニ對シテハ、當事者ハ抗告ガ出來ル、斯ウ云フヤウニ隨分嚴重ナ規定ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウニ勾留ニ付テハ、十分注意ヲ拂ッテ、萬已ムヲ得ザル場合ニ非ラザレバ之ヲナサナイ、萬已ムヲ得ザル場合デナケレバ、之ヲ遂行シナイ、斯ウ云フ趣意カラ此規定ハ出來テ居ルノデアリマス

○横山(勝)委員　サウスルト、法律ノ正面ノ解釋ハ其通りデアリマシテ、洵ニ結構デアリマスガ、併ナガラ假ニ此ニ定メテアリマス勾引ハスル場合ノ條件デス、八十七條ニアリマス、斯ウ云フ場合ハ無論サレル事ニナルダラウと思フ、此勾引ノ條件ヲ見ルト「被告人定マリタル住居ヲ有セサルトキ」斯ウアル、サウスルト被告ノ方デハ相當ナ住居ガアルケレドモ、勾引シテ來タ裁判所ノ方デハ住所ハナイノダ、定マツテ居ラヌト言フタラ、其一事如何トモ出來ヌ、私ハ彼處ニ住所ガアリマスと言ッテモ、ソレハ調ベナケレバ分ラス、ソレデハ電話ヲカケテ下サイ、ソンナ手續ハシナイ、斯ウ言ッテ住所ガ定マリタル者デナイト云フ認定ヲシタ場合ニハ、ドウシテモ其人ハ監獄署ニ行ク事ニナル、ソレカラ「罪證ヲ湮滅スル虞アルトキ」私ハ斯ク斯クノ身分ヲ持ッテ居ル者デアリマシテ、サウ云フ事ハ致シマセヌト言ッテモ、勾引狀ヲ發シタ方ハ額付ヲ見テ、ソレハドウモオ前ハ罪跡ヲ湮滅スル虞ガアルト言ハレ、バ、ソレデモウ如何トモスル事方出來ナイ、逃亡シタトキハ宜シイケレドモ、逃亡スル虞アルトキモサウデアアル、オ前ハ逃ガサウダト云へバ、ドウシテモ勾引サレル、サウスルト決定ダトカ抗告ダトカ仰シヤルケレドモ、サウ云フ事ハ監獄ニ居ル者、若クハ裁判官檢事ノ前へ引致

サレタ者ガ、實際ニ於テ自己ノ辯明權ヲ持ツコトノ出來ナイコトハ、論ヨリ事實デアル。現ニ司法當局モ御認ニナッテ居ル、警視廳ノ如キハ如何ニ正式裁判ヲサセヤト思フテモ、面會ヲサセテ、被告人ハ面會ヲ希望シテ居ラヌト云フ、強イテ面會ヲ求メテ面會ヲサス時分ニハ、先ヅ警視廳ノ官吏方被告人ニ面會シテ、誰ガ何ト云フテモ正式裁判ヲ仰イデハ、正式裁判ハ仰ガヌト云フ、ソレガ出テ來タ時分ニハ、アノ時ハ正式裁判ヲ仰ギタカケレドモ、役人ガヤカマシカッタカラ、黙ッテ居リマシタ、斯ウ云フコトヲ吾々ハ十數年ノ間經驗シテ居ル、立派ナ人権蹂躪デアル、之ヲ法律ノ解釋ノ上カラ言ヘバ、ソナナ事ハアルマイト云フケレドモ、八十七條ハ誰ガ見テモ非難スルコトハ出來マセヌケレドモ、然ラバ住所ノ一定セザルトキ、罪證ヲ湮滅スル虞アルトキ、逃亡ノ虞アルトキ、勾留シタル場合此ノ認定權ヲ誰ガ持ツカト云ヘバ拘留狀ヲ發スル——勾引狀ヲ發スル人ガ持ツテ居ル、其救済ハ後ニ至ッテ始メテ出來ルノデアル、ソコヲ私申スノデアル、斯ウ云フヤウナ自由自在ナ、護謨玉ヲ吹ケバ膨レルヤウナ意味ノ法文ヲ作テ置イテ、サウシテ檢事ノ公訴ガアツタ場合ハ、自由自在ニ私ハヤレルト思フ、ソコデドウモ立法原則ト云フモノガ、明文ノ上ニハドウ現ハレテ居ルカ知レマセヌガ、ドウモ結果カラ見テ、苟モ檢事ガ犯罪アリト見テ起訴シタル場合ニハ、勾留狀ヲ發シテ勾引スルト云フノガドウモ原則ノヤウニ思ハレル、唯タ明文ヲ捕ヘテ居ッテモ諒解スルコトガ出來ナイ、殊ニ之ガ爲ニ注意シテ二箇月ト仰シヤルガ、二箇月トアツテモ二週間トアツテモ同ジデ、マダ取調ノ必要アリト稱シテ、裁判所デ其決定ヲスルトキニハ、何年デモ行ケル、此規定ヲ以テ人権ヲ保護スルコトハ出來ナイ、此認定ヲスルニ付テ、何カ其所ニ制限ガナクテヤナラヌト思ヒマス、或ハ之ニ付テハ相當ナ證據ヲ以テ勾引狀ヲ發セヨト云フ說モアリマスケレドモ、ソレモ一説ダラウト思フ、唯ダ書キ放シテ、證據モ何モ要ラナイデ、斯ウ云フ勾引狀、勾留狀ヲ發スルコトニナルト、檢事ガ起訴シタル場合ニハドウシテモ監獄ニ行クコトニナル、サウ云フ虞レハナイト當局ハ御認ニナッテ居リマス。

○林政府委員 法律ノ精神ハ勾留ト云フコトハ、萬已ムヲ得ナイ事情ガアル場合ニ爲スベキモノデアルト云フコトハ此法案ノ中ニ十分ニ現ハレテ居ルノデアリマスカラ、其局ニ當ル者ハ、法案ノ精神ニ則ッテ職務ヲ行フベキ事ハ當然デアルト考ヘマス、若シ此法案ヲ行フニ當リマシテ、法律ニ列學シタル原因ガナイノニ、輕々ニヤルト云フナラバ、懲戒ノ責任ヲ免レヌ、若シ先程御話ノアツタヤウナ故意デ行フト云フナラバ、刑法上ノ制裁ヲ免レヌト思フ、ドウモ法律ノ規定

モ、法律通りニ行カヌト云フコトニナルト、致方ガナイト思ヒマス、法律ノ規定トシテハ、精神ヲ十分ニ明カニシ、サウシテ相當ノ品格ト能力ノアル者ヲ其職ニ當嵌メテ、サウシテ出來ルダケノ方法ヲ監督シテ行ク、マア斯ウ云フ事ニ致サヌケレバナラヌト考ヘテ居リマス、又法案ノ趣意ニ則ッテ、若シ從來勾留ト云フコトガ不注意ニ行ハレタコトガアルナラバ、サウ云フ事ハ將來ハ必ズ矯メルト云フコトヲ中上デ差支ナイト思ヒマス。

○横山委員 是ハ理窟ト云フヨリモ、實際上カラ此不滿ノ言語ヲ發シテ居ル、司法當局ハ御承知デアリマセウ、此裁判所ノ中ニ行ハレテ居ル用語ノ中ニ、勾留訊問ト云フコトガアリマス、是ハ必ズシモ法律ノ規定ニ依ッテ言葉デハナイト思ヒマス、ドウ云フ事カト申シマス、私ハマダヤツ事ガアリマセヌカラ存ジマセヌガ、私ノ想像スル所ニ據レバ勾留狀ニ依ッテ人ヲ連レテ來ル、夜遅イ場合モ、朝早イ場合モ合ニ、此法案ノ規定ニアルヤウニ、裁判所ニ引渡シタルトキハ、四十八時間内ニ訊問スベシト云フ規定ガアツテ、其時間ニ勾留訊問ヲヤラレル、必ズシモ起訴ヲ受ケタル判事ガヤラレルト決マッテ居ラヌ、誰デモ居ッテ判事ニ勾留訊問ヲ受ケル、甲ナラ甲ノ裁判管轄デアルノニ、其判事ガ居ラナイ時分ニハ、隣リノ管轄ニ屬セシメテ、サウシテ事件ノ内容ヲ知ラス人ガ勾留訊問ヲヤル、假令其事件ガ重大ナ事件デアラウガ、輕微ナ事件デアラウガ、吾々ガ豫審調書其他ノ調書ニ依ッテ見マスルト、タツタ一ツ訊問ガシテハ、オ前ハ何月何日泥棒ヲシタト云フ嫌疑ガアルガ、ドウダ、ソレハアリマセヌ、ソレデハ追ッテ調ベルカラト云フ勾留訊問デ——追ッテ調ベル、之ガ第一回ノ訊問、之ガ吾々ガ民間ニ居ッテ豫審調書ト云フモノヲ、被告ノ利益ノ不利益ノ參考トスル豫審調書デモ、第一回ノ調書、勾留訊問ノ調査ハ何ニモ參考ニモナラナイ、第二回ニ事實ノ真相ニ觸レル調書ガ出來テ來ルト云フコトデアル、其勾留訊問ヲヤルノハ、ドウ云フ事カト云フト、所謂逃亡ノ虞アルトカ、住所ヲ有セザルトカ、證據湮滅ノ虞アルトカ云フ事ハ心配シテ居ラヌ、碌々名前ヲモ知ラズニ運シテ居ルノヲチヨツト一分カ二分間調ベテ、監獄署ニ入レル法律上ノ手續ヲ爲スノデアリマス、之ガ俗ニ言フ裁判所ノ所謂勾留訊問デアリマス、斯ウ云フ事情ノアルト云フ事ヲ御承知ニナッテ居ルト思ヒマス、總テノ事件悉クデ、苟モ監獄署ニ運バレタ事件ハ、全部デアルト斷言シマシテモ大體ニ於テハ間違ッテ居ラヌ、所謂拘留訊問トハ、今私ノ中上デタ事實カラ委シク申シマスレバ、事件ノ真相ニ通ゼザル裁判官ガ、監獄署ニ人ヲ勾置シテ自由ヲ奪フ爲ニ必要ナル條件ヲ充タヌ爲ニ、訊問ヲシタルカノ如キ形式ヲ取ッテ

唯タ一言罪ヲ犯シタルヤ否ヤヲ訊問シテ、サウシテ法律上ノ要件ヲ拵ヘテ監獄署ニ入レルト云フ事デアル、其事實カラ見ルト、林政府委員ガサウ云フ御辯明ヲナサレテモ、刑事訴訟法ノ運用ノ狀態ハ、檢事ガ起訴シタル場合ニハ必ズ監獄ニ入レルレハ勾引狀ヲ發シタル場合ニハ必ズ監獄ニ入レル、斯ウ云フコトハ實際上ノ扱ヒニナッテ居ルト云フ事ハ、論ヨリ證據デアル、然ラバ其運用ヲ許シテ居ル法律ハ、明文ニハ何ト現ハレテ居ッテモ、不法ニ人ヲ監獄ニ入レルト云フ事ヲ言ハレテモ仕方ガナイ、ソレデハ人権擁護ノ意義ヲナサナイカラ、之ニ制限ヲ置カケレバナラヌ必要ガ起ッテ來ル、是デハ檢事ト豫審判事ニ睨マレタナラバ、チットモ何ニモナラヌ、是ハ人権蹂躪デアルト思フ文字ノ末節ニ隱レテ、制限ヲ置イテアルカラト云フテモ、吾々ハ承認スル譯ニハ行カヌド、實際ノ運用ノ有様、實際ノ法律ノ有様カラ、ドウ云フ風ニ活用スルカト云フコトヲ見テ、始メテ活キテ來ルノデアリマス、ドウシテモ此條文ニ付テハ、制限ヲ置カケレバナラヌト思ヒマス、ソレハ政府委員ノ言ハル通りニ、判事ガ住所ノ明瞭ナルヤ否ヤガ判リモシナイデ、若クハ證據ノ湮滅スルヤ否ヤヲ知ルコトモシナイデ、漫然勾留狀ヲ發シタルスレバ、ソレハ或ハ懲戒ノ規定ニ觸レルト云フヤウナ事モアルカモ知レヌガ、併シナガラ未ダ會テ裁判所部内デ不當ナル勾引、不當ナル勾留狀ヲ發シテ、ソレガ爲ニ懲戒裁判ヲ受ケタ例ガアツタコトヲ承知シマセヌ、結局人民側ガ不當ノ勾引不當ノ勾留ヲ受ケ、監獄ニ入レラレテ泣癡入りニナッテ居ルト云フコトガ現狀デアリマス、人ノ生命財産ヲ保護スル規定ヲ御設ケニナッテ、此處ニ用意ノナイト云フコトハ、一大缺點デアルト云ハレテモ仕方ガナイ、唯文字ノ上カラ論ジナイデ、今私ガ申上ゲタ勾留訊問ノ如キ、不法ニ人ヲ拘束スルト云ハレテモ仕方ガナイ何トナレバ、サウ云フ不法ナル事ヲ行ハレテモ、サウ云フ不法ヲ矯正シテ行クコトガ出來ヌトナラバ、此法律ハ此明文通りニ威力ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデ、今日ノ未決勾留ガ全國デ三萬人アルカ、五萬人アルカ知レマセヌガ、悉ク此法文ノ爲ニ拘ラレテ居ル、殊ニ強盜竊ノ如キハ、ソレハ例外デアリマスケレドモ政府委員ガ昨日御話シニナリマシタヤウニ、被害者ト何等關係ナキ者ガ突然出テ、ソレニ何等ノ住所ガナイト云ハレテモ仕方ガナイ、苟モ横領デアルトカ、背任デアルトカ、詐欺デアルトカ、悉ク住所ガ明瞭デアル、證據湮滅逃亡ノ虞ノナイ者ヲ、悉ク監獄ニ入レテ居ル場合ガアル、民權尊重ノ上カラノミ斯克申スノデアリナイ、良民ヲ捕ヘテ其事件ヲ吾々ノ所ニ持ッテ來ラレルト云フコトハ——八十七條ニ此條文ヲ置イテ、是デ以テ民權擁護ノ實ヲ盡シタイ、人権ノ蹂躪ヲ防ガントスルナラバ、飛ンデモナイ間違デアル、何トカ制

限ヲ設ケル必要ガアルト思フ、私ガ申スコトハ首尾一貫シテ居ラヌカモ知レマセケレドモ、色々不平ヲ申上ゲルコトカラ考ヘテ御覽下サルコト云フ、八十七條ト云フモノハ、洵ニ盡ニ書イテ牡丹餅デアルト云フコトヲ繰返シテ質問ヲ致シマス

○林政府委員 先程モ御答シマシタ如ク、勾留ハ已ムラ得ザル場合ノ例外デアルト云フ精神ハ法文ニ現ハレテ居ル又先程申シタ如ク、抗告マデモ許スト云フ規定モアリマス、ドウモ規定シテハ、是デ相當ニ完備シテ居ルト考ヘマスノデ、若シ實際ニ於テ今仰セニナクヤウナ事ガアリマスナラバ、是ハドウモ實際運用ノ方面ノ監督デ行カナケレバ致方ガナイモノト考ヘマス、法文ハ明白ニ勾留シナイノガ原則ニナッテ居ルノデアリマスカラ、此精神ニ則ッテ運用スル、斯ウ云フコトニ努メサセル考デアリマス、ソレカラ尙ホ檢事カラ起訴ヲサレル者ハ、大概勾留サレルヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハドウモ實際ソレ程ニハナッテ居リマセヌ、大正九年ノ統計デアリマスガ、第一審事件ノ終決ノ被告人デアリマス、是ガ十四万三千六百八十八人、其中デ勾留ヲ受ケタ被告人ガ二万八千二百五十八人トナッテ居ル、約七分ノ一位ノ見當ニナッテ居ルヤウデアリマス、昨年ノハマダ分リマセヌケレドモ、恐ラク昨年ハ今少シ減ッテ居ルト思ヒマスガ、是ハ責任ヲ持ッテ申スコトハ出来マセヌ、兎ニ角當局ニ於テハ、今日ニ於テモ未決勾留ト云フコトハ、成ベク避ケルヤウニヤッテ居リマス、將來ハ一層其覺悟デヤル積リデアリマス

マシテ、何等内容ニモ何ニモ通ゼザル判事ガ、一遍ノ訊問ヲシテ、サウシテ住所ナキノ事實ガアルカドウカト云フコトモ、證據湮滅ノ虞アル者ト云フコトモ、逃亡ノ虞ガアルヤ否ヤト云フコトモ何モ知ラナイデ、オ前ハ斯ウ云フ犯罪ヲ爲シタコトガアルカ、ソレハアリマセヌ、アリマスト云フコトデ、詳シイ取調ハ後ニスルト言ウテ監獄署ニ勾引サレル事實ガアル、ソレハ悉クサウデアアル、今日サウ云フ事實ガナイト仰シヤルナラバ、已ムラ得マセヌガ、サウ云フ事實ガアルナバ、八十七條ハ何モナラナイダラウト思フ、裁判所構成法始ツテ以來、三十年間ソレヲヤッテ居リマス、今後ニ於テ裁判官ノ素質ヲ全然改メテ、裁判所ノ構成ト云フモノヲ變ヘルト云フ外ハ救済ノ途ハナイ、御説明ニナルヤウナ意味ニ於テ運用ガ出来ナイ、文字通りニ運用ガ出来ナイト云フナラバ、遺憾ナガラ現狀ヲ維持スル外ハナイ、檢事ガ勾引狀ヲ請求シテ、裁判官ノ前ニ引致シタル者ハ、八十七條ノ制限ガアルノデアアル、何人ト雖モ監獄署ニ入レル、是ハ人權蹂躪ダト云フノデアリマスカラ、何モ甲ノ事件ニ付テ、甲ノ裁判官ニ是ガアルト云フノデアリマセヌ、一般ノ空氣ヲ言フテ居ルノデアリマス、何トカ此事情ヲ行政監督ノ上デヤルト云フ外ニ、何トカ制限ヲ置カナケレバ、ナラヌト云フ必要ヲ御認メニナルカドウカト云フコトヲ、更ニ御答辯ヲ促シタイ

下サルト思フ、私ハ其間ニ於テ一度モ左様ナ事ガナカッタト云フコトヲ明言致シマス、又是ハ有リ得ナイコトデアリマス、何ガ故ニ世人ガ斯ノ如キ疑ヲ持ツカト云フコトヲ怪ムノデアリマス、結果カラ見テ彼は想像スルノデアリマセウガ、兎ニ角此一人ノ檢事ニシテ斯ウ云フ都合ガアッテ、此事件ヲ起訴スルナト云フヤウナ事ガ言ヘルモノデナイノデ、左様ナ事ガアレバ、無論職ヲ賭シテ争フ、是ハ全國ノ檢事盡クサウデアラウト思ヒマス、職ヲ賭シテ争ハナケレバナラヌト云フ機會ニ、一度モ遭遇シナカッタト云フコトヲ明言シテ置キマス、尙勾留ノコトニ付テモ、何カ檢事ガ勾留ノ令狀ヲ請求スレバ、豫審判事ハ必ズ令狀ヲ出スニ極ッテ居ルト云フヤウナ御話デアリマスガ、是モ實際ト非常ニ違ッテ居ルノデアリマス、私ト横山君ト共ニ干渉シタ事件デモ、幾ラモ檢事ガ之ヲ請求シテ、判事ガ勾留狀ヲ出サナカッタ例ガ、幾多不勾留、起訴ノ上ニ檢事ハ意見ヲ異ニシテ、檢事ノ勾留起訴ト認メル場合デモ、不勾留起訴ニナッテ不勾留ノ儘デ審理ノ續ケラレタ事件ガアル、檢事ガ保釋ノ許可ニ反對ノ意見ヲ發シタ場合デモ、判事ガ之ヲ許シテ居ル例モ、是モ私ト横山君ト共ニ取扱フ事件ノ中ニ例ガアルノデアリマス、殊ニ此案ニ於キマシテハ、檢事ガ勾留ヲスルト云フテモ、判事ハ勾留ノ必要ナシ、勾留ノ原因ナシト認メル場合ニハ、保釋ノ請求ヲ待タズシテハ、ソレヲ取消スコトヲ得ル道ヲ開イテ呉レト云フノデ、私ハ横山君ハ信ゼザルコトヲロニセラレル人デナイコトヲ確信スルモノデアリマスガ、誤解ガアラレルヤウニ思フノデアリマス、決シテ搜索其他ノ上ニ於テ、世人ガ、譯ノ分ラヌ人間ガ想像スルヤウナ不正ナ事ガ行レ得ルモノデナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○横山(勝)委員 今政府委員ハ數字ヲ御擧ゲニナリマシタガ、僕ノ言フノハ、先刻來勾引狀、勾留狀ノ關係、檢事ガ勾引狀ヲ發スル必要ガアル場合ニ、檢事ガ起訴サレル場合ニ勾引狀ガナイ場合、私ノ方ニ關係ガアリマセヌガ勾引狀ト勾留狀ノ關係ニ於テ引致セラレタト云フコトデ、ソコハ御諒解ヲ願ヒタイ、而シテ依然トシテ勾留質問ニ付テ御説明ガアリマセヌガ、恐ラク是ハ勾留質問ト云フコトハ、私ノ言フ事ハナイト仰シヤルノダラウト思フ、ソレハ法律原則ハ、矢張勾留ヲスル場合ニハ嚴重ニ限定シテアルノデアアル、サウシテアルナラバ、ソレハ行政監督ノ方デ行ク外ナイ、斯ウ云フ御説明カラ見ルト、緩々議員カラ質問スルケレドモ、所謂議員ノ指摘シタル勾留質問ト云フヤウナ内容實相ハナイモノデアアル、斯ウ御認メニナッテ居ルト思フ、是ハ恐ラク御間遠デハナイカト思フ、私ノ今申上ゲタ勾留質問ト云フ意味ハ、モウ再ビ申上ゲマスルガ、勾引狀ニ依テ引致シタル者ヲ、法定ノ期間ヲ繫グ爲ニ、即チ監獄署ニ入監セシムル爲ニ、法律上ノ期間ヲ繫グ爲ニ、單ニ形式上ノ取調ヲスル、其際ニ於キ

○秋山政府委員 横山君カラ政府委員中、檢事ヲシテ居ル者ガアルカラト云フヤウナ御言葉デ、委員中、第一審檢事トシテ最モ長ク在職シテ居リマシタ者ハ私デアリマス、聊カ氏名ヲ擧ゲヌヤウナ感ガアリマスカラ遅クナッテ甚ダ恐入リマスガ、一言申シマス、檢事ガ上司ノ命令ニ依ッテ、起訴シヤウト信ズル事件ヲ起訴セズニ終ル、横山君ノ言葉ヲ以テ申シマスルト、採潰サレタ例ガ澤山ニアル、斯ウ云フ御言葉デアッタノデアリマスガ、斯様ナ風ナ意味ヲ含シタ新聞ノ記事杯ラ度々見マシテ、常ニ憤慨シテ居ルノデアリマス、ソレガ私ノ常ニ畏敬スル横山君ノ口ヨリ繰返サレテ、此席上デ承ツタ事ハ、非常ニ遺憾ニ思ヒマス、私ハ東京地方裁判所檢事トシテ約九年、其間各種ノ所謂横山君ノ問題トセラレルヤウナ案件ニ携ッテ居リマシタ、併シナガラ其間一度ト雖モ上司ヨリ横山君ノ言ハレルヤウナ意味ニ於テ、此事件ヲ起訴スルナト云フヤウナ命令ヲ受ケタコトガナイコトヲ斷言致シマス、横山君ト私トハ、勿論公ケノ職務ノ上ノ交ワスル外ハナイノデアリマスガ、或程度迄私ガ横山君ヲ解スル如ク私ヲ又横山君ガ解サレテ居ルト思フ、私ノ言ヲ或ル程度迄御信用

○横山委員 是デ濟ミマス、五分許リ——只今秋山政府委員カラ御話ガアリマシタガ、御話ノコトハ私ノ質問申シタコト、寸毫モ衝突ヲシテ居ラヌト思フ、其事ヲ諒解ヲ願ヒタイ、ソレハ採潰運動ガアルト云フヤウナ事ヲ世間ノ者ガ彼是言フ、サウ云フ風評ガアル、理解ナキ民衆ハ左様ナコトヲ信ズルモノガアル、ソレハ原因ハ何デアアルカト云フト、檢事ハ上官ノ命令ニ從フト云フ裁判所構成法ノ規定ガアルカラ、ソレデ上官ノ命令ニ從テ採潰ヲスルカラ、ソコデ裁判所構成法ノ規定モ改正シテ見タラドウカト云フコトヲ言ツタノデスカラ、ソコハ言葉ガ足りナクテ、他ノ意味ニ響キマシタラ、ソレハ私ノ言葉ノ足ラヌ所デアリマスカラ、左様ニ御諒解ヲ願ヒタイ、ソレカラ檢事ガ勾留狀ヲ請求シテモ、豫審判事ガ出サナカッタ例ガアル、ソレハアルデアリマセウ、

私ハ全部ソウダトハ言ハス、常ニ殆ドト云フコトヲ言ッテ居ル、殆ド全部サウダト言ッテ居リマス、殆ド云フ字ノ解釋デス、秋山檢事ノ際ニハ、十件要求シテモ一件シカ勾留狀ヲ發シナカッタ例ガアルカ知ラン、私ハ單ニ東京地方裁判所ノコトノミヲ言フノデナイ、日本全國ノ裁判所内ノ空氣ヲ一般的ニ申シテ居ル、其意味ニ於テ殆ド多クノ場合ニ於テ、檢事ガ要求サレタ場合ニハ豫審判事就中裁判所判事ハ、内容ヲ精査セズ、所謂勾留狀ヲ發シテ居ルト云フ一般ノコトヲ申シマシタノデドウカ感情ニ觸ラヌヤウニ御諒解ヲ願ヒマス

○聽澤委員長 今日ハ是ダケニ致シマシテ、明日午前十時カラ委員會ヲ開キマス
午後五時五分散會